必修・選択 単位数 単位数 単位時間数 32時間 授業概要、目的、投業の進め方 1	(2)					———————	マスティア 中	門字校 シラハス	
対象コース 40-73 対象学年 1 閉講時期 前期・後期	対象学	科 ————————————————————————————————————	声優科	科目名					
必修・選択 必修 単位数 一 単位時間数 32時間	担当教	員	矢頭 勲		実務	授業の有無		0	
授業概要、目的、 2	対象コ-	ース	全コース	対象学年	E	1	開講時期	前期・後期	
2 基礎的次演技メリッドの理解 3 合調表現と体表現への取り組み 6 治療表別と体表現への取り組み 6 治療表別と体表現への取り組み 6 治療表別と体表現への取り組み 7 テキスト・教材・参考 図書・その他資料 6 課習用台本を必要に応じてコピーし配布 7 学習方法・準備学習・備考 1・2 舞台演劇基礎 1 立ち姿勢 8 からから 1・2 舞台演劇基礎 2 反応と表現 1 報告においての動きや伝えたいことの意味と思わら 8 からから 1・2 舞台演劇基礎 3 台詞について 1 対象がある 1 が 1 対象が 1 対象 1 対象 1 対象 1 対象 1 対象 1 対象	必修・遠	選択	必修	単位数		_	単位時間数	32時間	
(到達目標)			2. 基礎的な演技メソッドの理解						
図書・その他資料							٤		
1・2 舞台演劇基礎1 立ち姿勢									
3-4 舞台演劇基礎2 反応と表現	回数		授業項目、内容			学習	冒方法•準備学習		
10	1•2	舞台演劇基礎1	立ち姿勢						
7・8 舞台演劇基礎4 芝居の空間 場番、設定の理解と、物の行動理解 9・10 舞台演劇基礎5 相手役を考える 自分に向けて話す相手の台詞から自分の役柄を見つける。 11・12 舞台演劇基礎6 会話劇 こしいのシーと演出でいて考える。 まないの表観について有える。 まないの表観について有える。 まないの表観について有える。 まないの表観について有力である。 まないの表観について ロッシーで関いでは、アースの表します。 またいの表観について ロッシーでの見せ方 コープ・1・18 演技発表1 ー人5分程度の流状発表金 19・20 演技実習1 姿勢や発声で必要な体について 基本的なトレーニングのおさらい 21・22 演技実習2 反射と影響 台間や表情・仕事から相手の意識を感じ取り、それに反応してみる。 第6・第6 第6 第	3•4	舞台演劇基礎2	反応と表現				状下での反応について		
9・10 舞台演劇基礎5 相手役を考える 自分に向けて該す相手の合詞から自分の段柄を見つける。 11・12 舞台演劇基礎6 会話劇 ニルビルのシーとを測じてみる。	5•6					意識してみる			
11・12 舞台演劇基礎6 会話劇	7•8	舞台演劇基礎4	芝居の空間		坩	場面、設定の理解と人物の行動理解			
13·14 舞台演劇基礎7 客席との距離 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日	9•10	舞台演劇基礎5	相手役を考える		É	3分に向けて話す相手の台	合詞から自分の役柄を見つけ	- న్	
15・16 舞台演劇基礎8 ミザンス	11•12	2 舞台演劇基礎6 会話劇							
17・18 演技発表1	13•14	舞台演劇基礎7	客席との距離						
19・20 演技実習1 姿勢や発声で必要な体について 基本的なトレーニングのおさらい 21・22 演技実習2 反射と影響 台詞や表情・仕草から相手の意識を感じ取り、それに反応してみる。 23・24 演技実習3 伝え方の工夫 声や身体両方をしっかりと使ってみる。 接音・・声、台詞・・体表現と目常の音を逆転させてみる。 25・26 演技実習4 台詞のキャッチボール 二人一組で、古今東西ゲームをテニス形式(エア)で行ってみる。 27・28 演技実習5 台本を理解し、物語のテーマを考える 第1・32 第1・32	15•16	舞台演劇基礎8	ミザンス						
21・22 演技実習2 反射と影響	17•18	演技発表1			-	-人5分程度の演技発表会	È		
23・24 演技実習3 伝え方の工夫	19•20	演技実習1 姿勢	や発声で必要な体について		ž	基本的なトレーニングのお	さらい		
25・26 演技実習4 台詞のキャッチボール	21-22	演技実習2 反射	と影響		É	お詞や表情・仕草から相手	の意識を感じ取り、それに反	応してみる。	
27・28 演技実習5 台本を理解し、物語のテーマを考える 演じる世界を理解し、登場人物だからこそ見える世界を感じとり、表現してみる。 29・30 演技実習6 集団表現	23•24	演技実習3 伝え	方の工夫						
29・30 演技実習6 集団表現	25•26	演技実習4 台詞	のキャッチボール		=				
29-30 演技実習7 自然な演技 オーバーラップや無反応、集団と個人など、打ち合わせの無い状態での集団表現	27•28	演技実習5 台本	を理解し、物語のテーマを考える)	Ä	演じる世界を理解し、登場人物だからこそ見える世界を感じとり、表現してみる。			
評価方法・成績評価基準履修上の注意	29•30	演技実習6 集団	表現			舞台でのアンサンブルを意識し、適切な立ち位置と複数人による台詞のタイミングを考えてみる。			
	31•32	演技実習7 自然	な演技		7	ーバーラップや無反応、	集団と個人など、打ち合わせ	の無い状態での集団表現	
定期試験40%、レポート25%、実技試験25%、学習意欲10% 様々な台本を使い、時間ごとにテーマを探り、表現の世界を何		評(価方法·成績評価基準 				履修上の注意		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以上)・D 評価を不可とする。 な角度で感じ取ってください。決して、授業がすべてでない表現であるとともに、先人たちが記した表現について理解するの大切さも学んでほしいと思います。	成績評価	i基準は、A(80点以		·D(59点以上)•	D t	は角度で感じ取って 世界であるとともに、	ください。決して、授業 先人たちが記した表	がすべてでない表現の	
実務経験教員の経歴 舞台演劇活動10年以上	実務経	験教員の経歴	舞台演劇活動10年以上						

(2)	② 国際映像メティア専門学校 ンフハス							
対象学	科	声優科	科目名		演技			
担当教	員	矢頭 勲		実務	授業の有無		0	
対象コ·	ース	全コース	対象学年	E	2	開講時期	前期·後期	
必修·遠	選択	必修	単位数		_	単位時間数	32時間	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 舞台俳優に必要な身体を身 2. 演技メソッドの理解と実践 3. リアリズム演劇を理解する	こ付ける					
学習目標 (到達目標) 現実的な表現と非現実的な表現について理解できる。また、演出家が求める演技について考え、対応できる。					ヽて考え、対応し順応			
テキスト・教材・参考 図書・その他資料								
回数		授業項目、内容			学習	冒方法・準備学習	習∙備考	
1•2	俳優演技の基礎で	体の使い方			レーニングの重要性の確 き声・滑舌などの訓練につ			
3•4	俳優演技の基礎2	2 表情を鍛える			日常的な場面でも、表情は動いています。台詞理解とともに、目線や仕草も無意識に反応しています。			
5•6	俳優演技の基礎の	3 呼吸法に対する意識			気持ちの持ち方で行動に差が出ます。ため息や笑い方など、いろいろな呼吸の仕方がまります。			
7•8	俳優演技の基礎な	1 シチュエーション		場	情面設定の理解と人物像 <i>だ</i>	いら行動やセリフの言い方を	試してみる。	
9•10	俳優演技の基礎を	5 感情表現について			終情の出し方より先に、感 ↑が反応していることを理∮		に向けて話す相手の台詞から自	
11•12	俳優演技の基礎の	6 喜怒哀楽と老若男女		感	候情表現に年齢設定や性質	別、擬人化などを加えてみる	۰	
13•14	俳優演技の基礎で	7 アンサンブル稽古		集	集団による歌のシーンやダンスシーンについて			
15•16	俳優演技の基礎8	3 コロス		集	集団演技について			
17•18	演技発表1				コロスもしくは、複数人による演技 5分程度の演技発表会			
19•20	演技実習1 姿勢	や発声で必要な体について		基	基本的なトレーニングのおさらい			
21-22	演技実習2 反射	と影響		台	お詞や表情・仕草から相手	の意識を感じ取り、それに反	応してみる。	
23•24	演技実習3 インス	プロ1		反	夏射や影響から心に生じる	変化を自然体として受け止め	カ、行動へと進めてみる。	
25•26	演技実習4 インス	プロ2			シチュエーションだけを与え、個人の記憶から発想される行動や変化を楽しみながら表現してみる			
27•28	演技実習5 エチ:	ユード1		場		ごけを決め、役者のみでストー	-リーをその場で繋いでみる。	
29•30	演技実習6 エチュ	ュード2			前回、行ったエチュードと同じシチュエーションで行ってみる。新しい発見や表現を感じて みよう。			
31•32	演技実習7 エチュ	ュード3		Ξ	チュードから生まれたシ-			
	評化	而方法·成績評価基準				履修上の注意		
成績評価		6、実技試験25%、学習意欲10% 以上)∙B(70点以上)∙C(60点以上)∙	· D(59点以上)•	to 世	よ角度で感じ取って	ください。決して、授業 先人たちが記した表	深り、表現の世界を色々 きがすべてでない表現の 現について理解すること	
実務経	験教員の経歴	舞台演劇活動10年以上						
_	·			_		·	·	

(2)				三	マスティア 守	・門字校 シラハス			
対象学	科	声優科	科目名		滑舌				
担当教	員	岡田 花菜子	ᢖ	ミ務授業の有無		0			
対象コ·	ース	全コース	対象学年	1	開講時期	前期・後期			
必修∙遠	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間			
	要、目的、 進め方	1. 正しい呼吸法・発声法を身に 2. クリアな発音・滑舌を身につい 3. 無声化・鼻濁音・舌の使い方	ける。	身につける。					
学習目標 1. 声優・俳優としての発声を身につける。2. 声優・俳優として必要な滑舌を身につける。3. 無声化・ 舌の使い方などを確認し、美しい日本語を話せる力をつける。					。3. 無声化・鼻濁音・				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料 講談社「魅せる声」のつくり方									
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習				
1	日本語アクセント	辞典 滑舌・アクセントについて説	胡	日本語発音アクセ	ント辞典の使い方は	確認			
2	腹式呼吸 声帯ス	トレッチ		実習	実習				
3	腹式呼吸 声帯ストレッチ 母音の無声化			実習	実習				
4	腹式呼吸 声帯ストレッチ 母音の無声化			実習					
5	腹式呼吸 声帯ス	トレッチ 鼻濁音		実習					
6	腹式呼吸 声帯ストレッチ 鼻濁音			実習					
7	腹式呼吸 声帯ス	トレッチ 外郎売		実習。外郎売のア	実習。外郎売のアクセント、読み方確認。				
8	腹式呼吸 声帯ス	トレッチ 外郎売		実習。外郎売練習	実習。外郎売練習。復習必須。				
9	テスト			実技テスト					
10	発声 外郎売			実習。外郎売チェック。					
11	発声 滑舌課題文	て練習		実習。滑舌課題文を練習。復習箇所もチェック。					
12	発声 滑舌課題文	て練習		実習。滑舌課題文を練習。復習箇所もチェック。					
13	発声 滑舌課題文	て練習		実習。滑舌課題文を練習。復習箇所もチェック。					
14	発声 滑舌課題文	て練習		実習。滑舌課題文を練習。復習箇所もチェック。					
15	発声 滑舌課題文	て練習		実習。滑舌課題文	実習。滑舌課題文を練習。復習箇所もチェック。				
16	発声 滑舌課題文	Z練習		実習。滑舌課題文	を練習。復習箇所	もチェック。			
	評	価方法·成績評価基準			履修上の注意				
成績評価		%、学習意欲30% 以上)•B(70点以上)•C(60点以上)•		わり方け数字で指述	なる発声・滑舌などの 事できるが、継続しなけ 復習が重要である。				
実務経	験教員の経歴	アナウ	 フンサー、司 <i>会</i>	- 1	 上経歴を積む				
		l .							

(2)					マスティア 号	門字校 ンフハス	
対象学	科	声優科	科目名		滑舌		
担当教	員	岡田 花菜子	実	務授業の有無		0	
対象コ	ース	全コース	対象学年	2	開講時期	前期·後期	
必修∙〕	選択	必修	単位数	_	時間数	16時間	
	要、目的、 進め方	1. 正しい呼吸法・発声法を身に 2. クリアな発音・滑舌を身につい 3. 無声化・鼻濁音・舌の使い方	ける。	たつける。			
学習目標 1. 声優・俳優としての発声を身につける。2. 声優・俳優として必要な滑舌を身につける。3. 無声化 (到達目標)					。3. 無声化•鼻濁音•		
	ト・教材・参考 ・その他資料	NHK放送文化研究所編 NHK日 講談社 「魅せる声」のつくり方	本語発音アクセ	ント辞典			
回数		授業項目、内容		学習	冒方法・準備学	当•備考	
1	発声 滑舌練習			1年次の振り返り。	復習練習。		
2	腹式呼吸確認 声	■帯ストレッチ 滑舌練習		1年次の振り返り。尾高から平板読み練習。			
3	腹式呼吸確認 声帯ストレッチ 滑舌練習			高感度の良い読み方、フラットな読み方の練習。			
4	腹式呼吸確認 声帯ストレッチ 滑舌練習			前回までの復習と	再修正。		
5	腹式呼吸確認 声帯ストレッチ 音域			基礎練習。音域を	広げる練習。		
6	腹式呼吸確認 声帯ストレッチ 音域			基礎練習。音域を	広げる練習。		
7	腹式呼吸確認 声	帯ストレッチ 課題文練習		同じ文章で抑揚を変えて練習。ストレートに読む練習。			
8	腹式呼吸確認 声	帯ストレッチ 課題文練習		テスト課題練習。			
9	テスト			実技テスト			
10	基礎練習 滑舌線	東習		やや長めの滑舌文を正しく読む練習。			
11	基礎練習 滑舌線	東習		やや長めの滑舌文を正しく早く読む練習。			
12	基礎練習 滑舌線	東習		やや長めの滑舌文を表現を加えて読む練習。			
13	基礎練習 滑舌長	長文練習		長めの滑舌文をクリアに読む練習。敬語多めの文章。			
14	基礎練習 滑舌長	長文練習		長めの滑舌文をクリアに読む練習。無声化確認。			
15	基礎練習 滑舌長	· 		長めの滑舌文をクリアに読む練習。ブレス調節。			
16	基礎練習 滑舌長	美文練習		長めの滑舌文をク	リアに読む練習。 ' 	テスト課題練習。	
	評	価方法·成績評価基準			履修上の注意		
成績評個	表)40%、基礎力309 五基準は、A(80点以 「可とする。	%、学習意欲30% 以上)∙B(70点以上)∙C(60点以上)∙	·D(59点以上)·D		なる発声・滑舌など <i>0</i> ₫できるが、継続しない 復習が重要である。		
実務経	験教員の経歴	アナウ	ーーー フンサー、司会	エ :者として20年以	上経歴を積む		

2					(以外) インサ	1111/2 2 24 1
対象学	科	声優科	科目名		アニソン論	
担当教	員	石田 燿子	実	務授業の有無		0
対象コ-	ース	オンライン声優コース	対象学年	1	開講時期	前期・後期
必修∙遠	選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間
	要、目的、 進め方	1. アニソンとは何? 2. アニソンの歴史 3. アニメーション作品とア	'ニソンの関係			
学習目 (到達目		アニソンを通じてアニメージ	ション業界の視	野を広げる。		
	ト・教材・参考 ・その他資料	プリント配布				
回数		授業項目、内容		学習	習方法∙準備学習	┇∙備考
1•2	60年代マニハ	ィ(放送アニメの歴史・当時のアニ	- ・・アン押 亜 ナト ビ\		プリント共有(資料郵	(关)
3•4	₩167 —ソン	、冰点,一个00世文" ヨ时00 / −	-ノン帆女はC)	,	ノソンド六行 (貝科男	ب <u>م</u> ر/
5•6	70年代アニソハ	√(放送アニメの歴史・当時のア =	ニングと概要など)	プリント共有(資料郵送)		
7•8	70 1107 - 72		-72	- /- / \ ロ \ 大竹 おAC/		
9•10	80年代アニソン	√(放送アニメの歴史・当時のア <i>=</i>	ニソン概要など)		プリント共有(資料郵	3送)
11•12						
13·14 15·16	90年代アニソン	ィ(放送アニメの歴史・当時のアニ	ニソン概要など)	プリント共有(資料郵送)		
17•18 19•20	2000年代アニソ	ン(放送アニメの歴史・当時のア	ニソン概要など)	プリント共有(資料郵送)		
21-22						
23-24	2010年代アニソ	ン(放送アニメの歴史・当時のア	ニソン概要など)	プリント共有(資料郵送)		
25-26	0000 = 11 =	\				7.47
27•28	2020年代アニソ	ン(放送アニメの歴史・当時のア	ニソン概要など)		プリント共有(資料郵	5运)
29•30	7-11.11	要する様々なイベント・コンサー	トニついて		プリント共有(資料垂	(关)
31•32	7 – 7 2 1	- ISI 7 'WIおべな'I ' ソー	. 10 00.0		・ノン「六竹(貝付到	··c/
	—— 評	而方法·成績評価基準			履修上の注意	Ţ.
成績評価		。年代ごとの小レポート提出40% 以上)・B(70点以上)・C(60点以上)		とにかく楽しんでアコ	ニソンを学んで下さい。	
 実務経	験教員の経歴			<u> </u> 'ニソンシンガー		

 対象学科	声優科	科目名		アニソン論		
	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		 実務授業の有無		0	
 対象⊐ース	オンライン声優コース	対象学年		開講時期	————— 前期∙後期	
 必修•選択	必修	単位数		単位時間数	32時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. アニソンとは何? 2. アニソンの歴史 3. アニメーション作品とア	'ニソンの関	茶			
学習目標 (到達目標) アニソンを通じてアニメーション業界の視野を広げる。						
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント配布					
回数	授業項目、内容		学習	ョ方法·準備学習 日本	₫•備考	
1•2	・ソン(アニソンシンガーについて、	映像担聴!		プリント共有(資料垂	·····································	
3•4	·/// —////////// = 56°C.	、叭啄兀呢/		ノソンド六行 (貝科型		
5・6 70年代アニ	・ソン(アニソンシンガーについて、	—— 映像視聴)		プリント共有(資料郵送)		
7.8		- シャルか DU 710/				
9・10 80年代アニ	80年代アニソン(アニソンシンガーについて、映像視聴)			プリント共有(資料垂	『送)	
11-12						
13・14 90年代アニ 15・16	.ソン(アニソンシンガーについて、	、映像視聴)		プリント共有(資料郵送)		
17・18 2000年代ア	ニソン(アニソンシンガーについて	、映像視聴)		プリント共有(資料郵送)		
21-22						
	ニソン(アニソンシンガーについて	、映像視聴)		プリント共有(資料郵送)		
25・26 最新アニン	ノン(アニソンシンガーについて、)	映像視聴)		プリント共有(資料郵送)		
27-28		-				
29·30 31·32	これからのアニメとアニソン			プリント共有(資料垂	承送)	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				 履修上の注意	±	
出席率50% 学習意欲10%	。年代ごとの小レポート提出409 以上)・B(70点以上)・C(60点以上)		D とにかく楽しんでア	ニソンを学んで下さい。		
 実務経験教員の経歴		—————— 現役 ————	 とアニソンシンガー	·		

対象学	科	声優科	科目名	アニソン				
担当教	員	石田 燿子	実	務授業の有無		0		
対象コ-	ース	が アナウンサー&リポーターコース 声優アーティストコース マニンバンボー・ヴォーカリストコース	対象学年	1	開講時期	前期·後期		
必修∙退	選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間		
	要、目的、 進め方	1. 声量を上げる 2. やる気みなぎる表情ができる 3. 発声基礎がしっかりできる	5					
学習目 (到達目		覇気ある人間になる。 人に感じてもらえる歌唱。						
	ト・教材・参考 ・その他資料	発声CD、カラオケ音源						
回数		授業項目、内容		学習	♂方法∙準備学習	╏∙備考		
1-2	自己紹介、発声基礎			ステージ・マイク使用法				
3•4	発声50音、自由曲	11コーラスチェック		keyチェック				
5•6	自由曲 1コーラス			人に向かって歌う				
7•8	自由曲 2コーラス			指摘された所が直せる				
9•10	自由曲 フルコー	ラス まとめ		指摘された所が直せる				
11•12	2 自由曲 発表			ステージ上で発表	ステージ上で発表形式			
13•14	課題曲① 盛り上	がるアニメソング		歌入れ				
15•16	課題曲② 盛り上	がるアニメソング		1人ずつ歌唱				
17•18	課題曲③ 盛り上	がるアニメソング 発表		ステージ上で発表形式				
19•20	課題曲① 懐かし	のアニメソング		歌入れ				
21-22	課題曲② 懐かし	のアニメソング		1人ずつ歌唱				
23•24	課題曲③ 懐かし	のアニメソング		1人ずつ歌唱				
25•26	課題曲④ 懐かし	のアニメソング 発表		ステージ上で発表形式				
27•28	オーディション曲(D		オーディション用資	オーディション用選曲&歌唱			
29•30	オーディション曲(2)		1人ずつ歌唱	1人ずつ歌唱			
31 • 32	オーディション曲(3		1人ずつ歌唱				
	評化	価方法·成績評価基準			履修上の注意	Ī.		
成績評価		6、実技試験25%、学習意欲10% 以上)∙B(70点以上)•C(60点以上)		一生懸命であるか、	羞恥心がないか			
 実務経	 験教員の経歴		現役7	アニソンシンガー				

<u></u> 対象学	 科	声優科	科目名			デザー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1111/2/27/	
バタ子 担当教		石田 燿子						
担ヨ教 対象コ・		円度コーへ アナウンサー&リポーターコース	対象学年		の有無 2	開講時期	 前期•後期	
刈 豕 J · - 必 修 • 遠		声優アーティストコース アニハバハガー・ヴォーカリストコース		-				
必11含 * 13	些 状	必修	単位数		_	単位時間数	32吋间	
	要、目的、 進め方	1. 基礎発声を正確に 2. 自由曲(個性を伸ばす) 3. 課題曲(求められた事ができ	÷る)					
学習目 (到達目		自分の声を知り、個性として自信	言を持って歌え	る事。				
	ト・教材・参考 ・その他資料	発声CD、カラオケ音源						
回数		授業項目、内容			学	習方法∙準備学習	ੂ ⋴ ⋴ ⋴ ⋴	
1•2	自己紹介、発声基礎			ステージ	ステージ・マイク使用法			
3•4	発声50音、自由曲	11コーラスチェック		滑舌、勃	 長現力			
5-6	自由曲 2コーラス	ζ		指摘され	指摘された所が直せる			
7•8	自由曲 2コーラス	、 フルコーラス		指摘され	指摘された所が直せる			
9•10	自由曲 フルコー	ラス まとめ		曲構成	曲構成を考える			
11-12	自由曲 発表			ステージ	ステージ上で発表形式			
13•14	課題曲① 懐かし	のアニメソング		歌入れ	歌入れ			
15•16	課題曲② 懐かし	のアニメソング		1人ずつ	1人ずつ歌唱			
17•18	課題曲③ 懐かし	のアニメソング 発表		ステージ	ステージ上で発表形式			
19•20	セリフのある曲①			歌入れ				
21-22	セリフのある曲②			1人ずつ	1人ずつ歌唱			
23•24	セリフのある曲③			1人ずつ	1人ずつ歌唱			
25•26	セリフのある曲④			ステージ	ジ上で発表	長形式		
27-28	オーディション曲(D		オーデ	オーディション用選曲&歌唱			
29-30	オーディション曲の	2)		1人ずつ	歌唱			
31•32	オーディション曲の	3)		1人ずつ	 >歌唱			
	評	価方法・成績評価基準 				履修上の注意		
成績評価		6、実技試験25%、学習意欲10% 以上)∙B(70点以上)∙C(60点以上)				戈長が見られるか。 られるアニソンが歌える	るか。	
 実務経	<u></u> 験教員の経歴			とアニソン	シンガー	-		
・ヘッハルエ	- 3八 3八 5元 マノ 作工 江王		ر _{ا نا} ح		/4			

対象学科 声優科 科目名 アナウンス						
担当教員	岡田 花菜子		_ ≧務授業の有無	. , , , , , ,	0	
対象コース	アナウンサー&リポー	- ² 対象学年	1	開講時期	 前期·後期	
	ターコース 必修	単位数	 	単位時間数	32時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 放送の基本 2. レポーターに関する基 3. アナウンスメントに関す	本的テクニッ				
学習目標 (到達目標)						
テキスト・教材・参考 図書・その他資料						
回数	授業項目、内容		学習	習方法•準備学習	習∙備考	
1-2	対送の仕組み(番組制作について	-)		プリント共有		
3-4	x 企り1上4世の(世紀前TFI〜20)(· /		ノソノト共有		
5・6 ナレーシ	ション実技(映像に合わせて原稿	— <u>——</u> を読む)		プリント共有		
7-8	///////////////////////////////////		ンプンド大僧			
9・10 ナレーシ	- ナレーション実践(読むスピードや抑揚に注意)		映像日	映像に合わせてナレーションを読む		
11-12						
13・14 レポーター	-実技(現場での臨場感をどう伝	えるか?)		プリント共有		
17・18 レポー	·ト実践(ブッキングしたお店をレ ፣	ポート)		校外学習		
21-22						
	・一実技(原稿を読む、事件事故、	、天気など)		プリント共有		
25·26	ナウンサー実践(原稿をどう読む	か)		スタジオにて実施		
27-28		•				
29·30 31·32	フリートーク実技		各自	各自、5分のフリートークを実施		
 評(価方法·成績評価基準			履修上の注意		
	意欲10% 小レポート提出40% 以上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以上)・I)授業前に一通り発育	≒を終えて下さい。		
実務経験教員の経歴	アナウ	フンサー、司会	会者として20年以	上経歴を積む		

対象学科 担当教員	声優科	科目名		マナウンフ			
切		•	アナウンス				
担当教員	岡田 花菜子	実	務授業の有無		0		
対象コース	アナウンサー&リポー ターコース	対象学年	2	開講時期	前期·後期		
必修•選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間		
技未概安、日的、 	1. 実践的アナウンス(スタ 2. ニュース原稿、フリート 3. インタビューについて						
学習目標 (到達目標)	アナウンサーとしての技術	前 上を目的と	する				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料 アクセント辞典・プリント配布							
回数			学習	♂方法•準備学習	習•備考		
3.4				ミ空の情報番組を制 て授業に参加する	作、アナウンサーとし る。		
5-6							
7-8	番組制作(歌唱番組MC)		いかに番組時間内に進行出来るかをチェック				
9-10							
	番組制作(バラエティー番組MC)			バラエティーの雰囲気を作り上げるかをチェック			
13·14 15·16	番組制作(報道番組MC)			知的かつ嘘のない芯の通ったアナウンスが出来ているか をチェック			
17·18 19·20	インタビュー①		相手から視聴者受けする情報を引き出せるかをチェック				
21 · 22	インタビュー②		相手から視聴者	受けする情報を引き	き出せるかをチェック		
25·26 27·28	ラジオパーソナリティー①		フリートークのみで番組を成立出来るかをチェック				
29·30 31·32) ラジオパーソナリティー②		フリートークのみで番組を成立出来るかをチェック				
評(i	五方法・ 成績評価基準			履修上の注意			
各授業での評価80% 学習 成績評価基準は、A(80点じ 評価を不可とする。	♂意欲10% 事前準備10% ↓上)・B(70点以上)・C(60点以上)・	-D(59点以上)·D	授業前に一通り発剤	■である。			
実務経験教員の経歴	アナウ	ンサー、司会	者として20年以	上経歴を積む			

対象学科 声優科 科目名 朗読 担当教員	前期・後期 32時間			
万多年 1 開講時期 2 2 2 2 2 2 2 2 2	前期・後期			
が多・選択 必修 単位数 一 単位時間数				
授業概要、目的、 2. 「語る」ための基礎力育成。 2. 「表現する」ためのイメージ力育成。 3. 免表により、伝える力を身につける。 3. 免表により、伝える力を身につける。 4. 人(心)に伝わる音量で語ることができる。 2. キャラクターのが開こ応じたセリフを表現することができる。 3. 物語やキャラクターのが開こ応じた話り表現ができる。 5. 物語やキャラクターのが限で心情に応じた話り表現ができる。 6. 対見終みチェック、選手・内容複誌、児童に伝わる語りについる 2. 全の他資料 2. 全部 2. キャラクターのが限から情に応じた話り表現ができる。 6. 対見終みチェック、選手・内容確認、児童に伝わる語りについる。 6. 全部 2. キャラクターの側について確認。 8. 毎回取り方などの表現を学ぶ。 7. 8. 全部 4. グループ条表、毎返リチェック。 7. トループ条表、毎返リチェック。 7. トループ条表、毎返リチェック。 7. トループ条表、毎返リチェック、 7. トループ条表、毎返リチェック。 7. トループ条表、日達と今の短線小説の傾談検索。 7. 中来予川直之全の辺線小説の傾談検索。 7. 中来予川直之全の辺線小説の顔談検索。 7. 中来予川直之全の辺線小説の顔談検索。 7. 中来予川直之全の辺線小説の顔談検索。 7. 中来予川直之全の辺線小説の顔談検索。 7. 中来予川直之全の辺線小説の顔談検索。 7. 中来予川直之全の辺線小説の顔談を	32時間			
2. 「表現する」ためのイメージカ育成。				
2. キャラクターの心情に応じたセリフを表現することができる。 3. 物語やキャラクターの状況や心情に応じた語り表現ができる。 3. 物語やキャラクターの状況や心情に応じた語り表現ができる。 テキスト・教材・参考 図書・その他資料 授業項目、内容 学習方法・準備学習・化 1・2 童話1 3・4 童話2 キャラクターの心情について確認。書祭宴楽を活かした表現を 5・6 童話3 元 童話4 グループ発表、第返リチェック。 第一の寄殖器。 「リープ発表、第返リチェック。 第一の寄殖器。 「リープ発表、第返リチェック。 第一の歌切とた状況などの表現を学ぶ。 11・12 民話2 第報線急高低を活かした表現を学ぶ。 13・14 民話3 「カルーブ発表、第返リチェック。 第一の歌切とた状況などの表現を学ぶ。 「カルーブ発表、第返リチェック。 第一の音話。 15・16 民話4 ブルーブ発表、第返リチェック。 「中東芥川龍2介の短編小扱の朗読練習。 「中東芥川龍2介の短編小扱の朗読練習。 「中東芥川龍2介の短編小扱の朗読練習。 「中東芥川龍2介の短編小扱の朗読練習。 「中東芥川龍2介の短編小扱の朗読練習。				
回数 授業項目、内容 学習方法・準備学習・化 1・2 童話1 初見読みチェック。漢字・内容確認。児童に伝わる語りについ 3・4 童話2 キャラクターの心情について確認。喜怒哀楽を活かした表現を 5・6 童話3 距離感、間の取り方などの表現を学ぶ。 7・8 童話4 グループ発表、振返りチェック。 9・10 民話1 初見読みチェック。漢字・内容確認。 11・12 民話2 強調緩急高低を活かした表現を学ぶ。 13・14 民話3 切迫した状況などの表現を学ぶ。 15・16 民話4 グループ発表、振返りチェック。 17・18 日本文学1 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 19・20 日本文学2 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 23・24 日本文学3				
1・2 童話1 初見読みチェック。漢字・内容確認。児童に伝わる語りについ 3・4 童話2 キャラクターの心情について確認。喜怒宴楽を活かした表現を 5・6 童話3 距離感、間の取り方などの表現を学ぶ。 7・8 童話4 グループ発表。摄返りチェック。 9・10 民話1 初見読みチェック。漢字・内容確認。 11・12 民話2 強弱緩急高低を活かした表現を学ぶ。 13・14 民話3 切迫した状況などの表現を学ぶ。 15・16 民話4 グループ発表。振返りチェック。 17・18 日本文学1 特家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 19・20 日本文学2 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 22・24 日本文学3 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。				
3・4 童話2 キャラクターの心情について確認。喜怒哀楽を活かした表現を 5・6 童話3 距離感、間の取り方などの表現を学ぶ。 7・8 童話4 グループ発表。振返りチェック。 9・10 民話1 初見読みチェック。漢字・内容確認。 11・12 民話2 強弱緩急高低を活かした表現を学ぶ。 13・14 民話3 切迫した状況などの表現を学ぶ。 15・16 民話4 グループ発表。振返りチェック。 17・18 日本文学1 切見読みチェック。 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 19・20 日本文学2 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 21・22 日本文学3 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。	備考			
 5・6 童話3 2・10 童話4 グループ発表。振返りチェック。 り・10 民話1 初見読みチェック。漢字・内容確認。 11・12 民話2 強弱緩急高低を活かした表現を学ぶ。 13・14 民話3 切迫した状況などの表現を学ぶ。 15・16 民話4 グループ発表。振返りチェック。 17・18 日本文学1 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 19・20 日本文学2 日本文学3 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 22・24 日本文学4 日本文学4 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 22・24 日本文学4 	ハて学ぶ。			
7・8 童話4 グループ発表。振返りチェック。 9・10 民話1 初見読みチェック。漢字・内容確認。 11・12 民話2 強弱緩急高低を活かした表現を学ぶ。 13・14 民話3 切迫した状況などの表現を学ぶ。 15・16 民話4 グループ発表。振返りチェック。 17・18 日本文学1 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 19・20 日本文学2 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 21・22 日本文学3 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 22・24 日本文学3 作家芥川龍之介の短編小説の朗読。				
9・10 民話1 初見読みチェック。漢字・内容確認。 11・12 民話2 強弱級急高低を活かした表現を学ぶ。 13・14 民話3 切迫した状況などの表現を学ぶ。 15・16 民話4 グループ発表。振返りチェック。 17・18 日本文学1 行家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 19・20 日本文学2 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 21・22 日本文学3 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。	距離感、間の取り方などの表現を学ぶ。			
11・12 民話2 強弱緩急高低を活かした表現を学ぶ。 13・14 民話3 切迫した状況などの表現を学ぶ。 15・16 民話4 グループ発表。振返りチェック。 17・18 日本文学1 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 19・20 日本文学2 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 21・22 日本文学3 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 22・24 日本文学4 作家芥川龍之介の短編小説の朗読。				
13・14 民話3 切迫した状況などの表現を学ぶ。 15・16 民話4 グループ発表。振返りチェック。 17・18 日本文学1 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 19・20 日本文学2 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 21・22 日本文学3 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 23・24 日本文学4 作家芥川龍之介の短編小説の朗読。				
15・16 民話4 グループ発表。振返りチェック。 17・18 日本文学1 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 19・20 日本文学2 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 21・22 日本文学3 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 22・24 日本文学4 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。				
17・18 日本文学1 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 19・20 日本文学2 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 21・22 日本文学3 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 23・24 日本文学4 作家芥川龍之介の短編小説の朗読。	切迫した状況などの表現を学ぶ。			
17・10 ロ本文子1 初見読みチェック。 19・20 日本文学2 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 21・22 日本文学3 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 23・24 日本文学4 作家芥川龍之介の短編小説の朗読。				
19・20 日本文字2 21・22 日本文字3 作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。 22・24 日本文学4 作家芥川龍之介の短編小説の朗読。	初見読みチェック。			
23・24 日本文学3 作家芥川龍之介の短編小説の朗読。	作家芥川龍之介の短編小説の朗読練習。			
193-94 日本文学4 作家芥川龍之介の短編小説の朗読。				
23・24 日本文字4 グルーブ仮発表の撮影。語り癖の確認と修正。	作家芥川龍之介の短編小説の朗読。 グループ仮発表の撮影。語り癖の確認と修正。			
25・26 日本文学5 作家芥川龍之介の短編小説の朗読。 グループ発表。				
27・28 ボイスドラマ1 初見読みチェック。キャラクターの状況・心情を活かしつつセリ	初見読みチェック。キャラクターの状況・心情を活かしつつセリフを表現する力を強化。			
29・30 ボイスドラマ2 立ち稽古によりキャラクターの音声表現確認。	立ち稽古によりキャラクターの音声表現確認。			
31・32 ボイスドラマ3 動きのある読みを習得。				
評価方法・成績評価基準 履修上の注意				
定期試験(発表)40%、基礎力30%、学習意欲30%	カ、表現力を磨く。 にするには、自身もイ			
実務経験教員の経歴 演技者・ナレーターとして10年以上経験を積む				

②								
対象学	科	声優科	科目名		朗読			
担当教	員	鈴木 則子		実	窓務授業の有無 〇			
対象コ·	ース	声優コース オンライン声優コース	対象学年	Ε	2	開講時期	前期·後期	
必修·遠	選択	必修	単位数		_	単位時間数	32時間	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 「語る」ための基礎力育成。 2. 「表現する」ためのイメージカ 3. 発表により、伝える力を身に						
	2習目標 1. 人(心)に伝わる音量で語ることができる。 2. キャラクターの心情に応じたセリフを表現することができる。 到達目標) 3. 物語やキャラクターの状況や心情に応じた語り表現ができる。							
	ト・教材・参考 ・その他資料	講師テキスト						
回数		授業項目、内容			学習	冒方法・準備学習	♂·備考	
1•2	日本文学1				作家太宰治の短編小説の朗読練習。 初見読みチェック。			
3•4	日本文学2				作家太宰治の短編小説の	朗読練習。		
5•6	日本文学3				作家太宰治の短編小説の朗読練習。			
7•8	日本文学4				作家太宰治の短編小説の朗読練習。			
9•10	日本文学5				作家太宰治の短編小説の朗読。 語り癖の確認と修正。			
11•12	12 日本文学6				グループ発表。			
13•14	現代小説1				現代の短編小説の朗読練習。 初見読みチェック。			
15•16	現代小説2				現代の短編小説の朗読練習。			
17•18	現代小説3				現代の短編小説の朗読練習。			
19•20	現代小説4				現代の短編小説の朗読練習。			
21-22	現代小説5				現代の短編小説の朗読練習。			
23•24	現代小説6				グループ発表。			
25•26	海外小説1				海外の短編小説の朗読練習。 初見読みチェック。			
27•28	海外小説2				海外の短編小説の朗読練習。			
29•30	海外小説3				海外の短編小説の朗読練習。			
31•32	海外小説4				海外の短編小説の朗読練	習。		
	評	価方法·成績評価基準 ────				履修上の注意	<u> </u>	
成績評価	定期試験(発表)40%、基礎力30%、学習意欲30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・E 評価を不可とする。			D	聴く人に、声で物語の	の世界を見せられるよ しなければならない。	る力、表現力を磨く。 うにするには、自身もイ	
実務経	験教員の経歴	演技	者・ナレータ	ı—,	として10年以上	- 経験を積む		

2						は、アイグリス	門学校 シラバス	
対象学科 声優科 科目名				パフォーマンス				
担当教	当教員 矢頭 勲 実務授業の有無 ○			0				
対象コ·	オンライン声優コース 対象学年			1	開講時期	前期∙後期		
必修∙遺	選択	必修	単位数			単位時間数	16時間	
	要、目的、 進め方	1. パフォーマンス公演の実施。 2. 発表により、表現力を育成す	- る。					
学習目 (到達目		1. 人前で演じる力を身につける。 2. 計画・実行する力を養う。						
	ト・教材・参考 ・その他資料	講師テキスト						
回数		授業項目、内容			学習	習方法・準備学習		
1	公演実施について	[パフォーマンスについての	意義を説明。公演内容説明	-	
2	台本練習				ボイスドラマ台本の練習			
3	台本練習				ボイスドラマ台本の練習			
4	台本練習				ボイスドラマ台本の練習			
5	台本練習				ボイスドラマ台本の練習			
6	台本練習				ボイスドラマ台本の練習			
7	台本練習				ボイスドラマ台本の練習			
8	場当り・リハーサル	V			場当りおよびリハーサル。			
9	ゲネプロ・本番				ゲネプロおよび本番。			
10	ダンス指導(1H)・	歌唱指導(1H)			ダンスと歌唱、それぞれの練習。			
11	ダンス指導(1H)・	歌唱指導(1H)			ダンスと歌唱、それぞれの練習。			
12	ダンスと歌唱 複	合練習。			ダンスと歌唱を合わせての練習。			
13	ダンスと歌唱 複				ダンスと歌唱を合わせての練習。			
14	ダンスと歌唱 複				ダンスと歌唱を合わせての練習。			
15	ダンスと歌唱 複	 合練習。			ダンスと歌唱を合わせての練習。			
16	リハーサル・本番				リハーサルおよび本番。			
	評化	正方法・ 成績評価基準				 履修上の注意		
成績評価		力30%、学習意欲30% J上)·B(70点以上)·C(60点以上)	·D(59点以下)	•D		lと協力し、やり遂げる 楽しさを実感してもら [:]		
実務経	験教員の経歴		舞台	寅豦	】 引活動10年以上	0		

(2)				「吹像グリイノ寺	門字校 シフバス	
対象学科	東学科 声優科 科目名 パフォーマンス				ζ	
担当教員	矢頭 勲	実	実務授業の有無			
対象コース	オンライン声優コース	対象学年	2	開講時期	前期·後期	
必修·選択	必修	単位数		単位時間数	16時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. パフォーマンス公演の実施。 2. 発表により、表現力を育成す	-る。				
学習目標 (到達目標)	1. 人前で演じる力を身につける。 2. 計画・実行する力を養う。					
テキスト・教材・参考 図書・その他資料						
回数	授業項目、内容		学習	習方法∙準備学習	 冒•備考	
1 公演実施についる	T		パフォーマンスについての	説明。公演内容について企画	画例を提示。	
2 公演企画			パフォーマンスに関する企	画案を出し合う。		
3 公演企画			パフォーマンスに関する企画案を検討。			
4 台本作成			台本概要を検討させる。			
5 台本作成			具体的プロットの検討・作成。			
6 台本作成			具体的プロットの検討・作り	或。台詞化。		
7 台本作成			台本の完成。			
8 稽古			公演に向けての稽古。			
9 稽古			公演に向けての稽古。			
10 稽古			公演に向けての稽古。			
11 稽古			公演に向けての稽古。			
12 稽古			公演に向けての稽古。			
13 稽古			公演に向けての稽古。			
14 通し稽古			公演に向けての稽古。			
15 リハーサル			場当りおよびリハーサル。			
16 ゲネプロ・本番			ゲネプロおよび本番。			
				履修上の注意	-	
定期試験(発表)40%、基礎		·D(59点以下)·D		番まで、学生の力で遂		
		舞台演劇				

2				<u></u>	<u> 余映像メナイノ専</u>	門学校 シラバス	
対象学	科	声優科		発声法			
担当教	新教員 鈴木 則子 実			実務授業の有無	務授業の有無		
対象コ-	ース	オンライン声優コース	対象学年	1	開講時期	前期•後期	
必修∙退	選択	必修	単位数		単位時間数	16時間	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 正しい腹式呼吸を身につける 2. 声帯の強化。 3. 正しい発声の仕方を理論的に		せる。			
学習目 (到達目		声優・ナレーターとしての発声法	を身につける。	o o			
	ト・教材・参考 ・その他資料	講談社「魅せる声」のつくり方	など				
回数		授業項目、内容		学	習方法•準備学習	 習•備考	
1	腹式呼吸•胸式呼	吸・肩式呼吸についての説明		テキストに準じた	説明		
2	腹式呼吸•胸式呼	吸・肩式呼吸を実践的に研究		実習			
3	練習文による腹式			実習			
4	練習文による腹式	け呼吸の練習		実習	実習		
5	練習文による腹式	に呼吸の練習		実習	実習		
6	練習文による腹式	に呼吸の練習		実習	実習		
7	ロングトーンの練	習		実習	実習		
8	ロングトーンの練	習		実習	実習		
9	テスト			実技テスト	実技テスト		
10	声帯についての説			テキストに準じた	テキストに準じた説明		
11	声帯トレーニング			実習	実習		
12	声帯トレーニング			実習			
13	声带強化			実習	実習		
14	声带強化			実習			
15	課題文による声帯	詩訓練		実習			
16	テスト		実技テスト				
	評	価方法·成績評価基準 ───			履修上の注意		
成績評価		%、学習意欲30% 以上)∙B(70点以上)∙C(60点以上)	・D(59点以下)・	□ やり方は教室で指記	基礎となる発声・滑舌 導できるが、継続しない - 復習が重要である。	などの力を身につける ナれば意味はない。	
実務経	験教員の経歴	演技	者・ナレータ	 一として10年以_	上経験を積む		

	$\overline{}$
-/	വ
(_

2						『門学校 シラバス		
対象学科 声優科 科目名 発				発声法				
担当教	員	鈴木 則子	5	実務授業の有無	務授業の有無			
対象コ-	ース	オンライン声優コース	対象学年	2	開講時期	前期•後期		
必修∙遠	選択	必修	単位数		時間数	16時間		
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 呼吸を持続させ、長文や長台 2. 外郎売を用いたトレーニング		身につける。				
学習目 (到達目		声優・ナレーターとしての発声法	を身につける。	o				
	ト・教材・参考 ・その他資料	「外郎売」など						
回数		授業項目、内容		学習	冒方法・準備学	 肾•備考		
1	腹式呼吸・声帯ト	レーニング確認		1年次の振り返り	復習練習			
2	腹式呼吸・声帯ト	レーニング確認		1年次の振り返り	復習練習			
3	外郎売について			「外郎売」について	「外郎売」についての説明と読み仮名確認			
4	外郎売の練習			4分の1パート練習	4分の1パート練習			
5	外郎売の練習			4分の1パート練習				
6	外郎売の練習			4分の1パート練習	4分の1パート練習			
7	外郎売の練習			4分の1パート練習	4分の1パート練習			
8	外郎売 暗唱			「外郎売」全てを暇	「外郎売」全てを暗唱する			
9	外郎売 暗唱			「外郎売」全てを暇	「外郎売」全てを暗唱する			
10	テスト			「外郎売」テスト	「外郎売」テスト			
11	長文音読練習			呼吸を持続しなが	呼吸を持続しながら読む練習			
12	長文音読練習			呼吸を持続しながら読む練習				
13	長文音読練習			呼吸を持続しながら読む練習				
14	課題文練習			テストのための長文音読練習				
15	課題文練習			テストのための長文音読練習				
16	テスト			実技テスト				
	評				履修上の注意	<u></u>		
成績評価 評価を不	ī基準は、A(80点以 ∶可とする。	%、学習意欲30% 以上)·B(70点以上)·C(60点以上)		やり方は教室で指導 そのためにも、特に	掌できるが、継続しな 復習が重要である。	などの力を身につける。 ナれば意味はない。		
実務経	験教員の経歴	演技	者・ナレータ・	−として10年以上	上経験を積む			

	1	1					
対象学科	象学科 声優科 科目名			ダンス			
担当教員	MIE(中野 美恵	実務授業の有無			0		
対象コース	戸俊コース アナウンサー・リポーターコース 声優アーティストコース アニソンペンが一&ヴォーカリストコース	対象学年	1	開講時期	前期•後期		
必修·選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間		
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 正しい姿勢、舞台で動ける身 2. リズム感を身につける。 3. テーマを持ち、課題曲の振り						
学習目標 (到達目標)	。 たができる。						
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし						
回数	授業項目、内容		学習	♂方法・準備学習			
1 ストレッチ			基本的なストレッチ。体のバ	ペーツを動かし確認。			
2 ストレッチ、アイソ	レーション、リズムトレーニング		アイソレーション。首・胸・服	₹・膝・足首と、上から下へと行	う。		
3 ストレッチ、アイソ	レーション、リズムトレーニング、	ステップ	アイソレーション。リズムをとりながらステップ。				
4 ストレッチ、アイソ	レーション、リズムトレーニング、	ステップ	ステップ、ボディコントロールできるための練習。				
5 ストレッチ、アイソ	レーション、リズムトレーニング、:	振り入れ	ピッチが早すぎない課題曲から練習。基本的動きを確認。				
6 ストレッチ、アイソ	ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニング、振り入れ			リズムキープ、体を大きく使えるような振りを加えた練習。			
7 ストレッチ、アイソ	レーション、リズムトレーニング、	振り入れ	グループ練習。動きの確認。				
8 ストレッチ、アイソ	レーション、リズムトレーニング、	振り入れ	グループ練習。動きの確認。				
9 ストレッチ、アイソ	レーション、リズムトレーニング、	ステップ	前期の復習				
10 ストレッチ、アイソ	レーション、リズムトレーニング、	振り入れ	アップテンポの曲(A)の課題。新しい振り付け。				
11 ストレッチ、アイソ	レーション、リズムトレーニング、!	振り入れ	アップテンポの曲(A)振付の続き。				
12 ストレッチ、アイソ	レーション、リズムトレーニング、	振り入れ	アップテンポの曲(A)振付の続き。フォーメーション。				
13 ストレッチ、アイソ	レーション、リズムトレーニング、:	振り入れ	アップテンポの曲(A)振付の続き。フォーメーション。				
14 ストレッチ、アイソ	レーション、リズムトレーニング、	振り入れ	アップテンポの曲(A)練習。表情、リズム確認。				
15 ストレッチ、アイソ	レーション、リズムトレーニング、	振り入れ	アップテンポの曲(A)練習。表情、リズム確認。				
16 テスト			総まとめ				
評	価方法·成績評価基準 			履修上の注意	Ī		
	%、学習意欲20%、積極性20% 以上)·B(70点以上)·C(60点以上)·	・D(59点以上)・[うために け白主編型	ながら振付も変えている。 も必要。発表のタイミ			
 実務経験教員の経歴	HipHopダン ⁺	 サーとして15	 5年以上活躍。ア <i>-</i>	 イドルの振付も行	 テ う 。		

(2)				—————————————————————————————————————	京吹1家メナイド 専	門字校シフハス		
対象学	· 象学科 声優科 科目名			ダンス				
担当教	員	MIE(中野 美恵)]	実務授業の有無				
対象コ-	ース	戸懐コーム アナウンサー・リポーターコース 声優アーティストコース アニソンシンガー&ヴォーカリストコース	対象学年	2	開講時期	前期・後期		
必修·遠	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間		
	要、目的、 進め方	1. 正しい姿勢、舞台で動ける身 2. リズム感を身につける。 3. テーマを持ち、課題曲の振り						
学習目 (到達目		1. 振付られた課題を練習し、踊 2. 個々の表現を入れながら、誤						
	ト・教材・参考 ・その他資料	なし						
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	習∙備考		
1	ストレッチ、アイソ	レーション、リズムトレーニング		1年次の復習。				
2	ストレッチ、アイソ	レーション、振り付け		HipHopとJAZZを取り入れが	たダンス課題。振り付け。			
3	ストレッチ、アイソ	レーション、振り付け		HipHopとJAZZを取り入れが	HipHopとJAZZを取り入れたダンス課題。振り付け。			
4	ストレッチ、アイソ	レーション、振り付け		HipHopとJAZZを取り入れが	HipHopとJAZZを取り入れたダンス課題。振り付け。			
5	ストレッチ、アイソ	レーション、振り付け		HipHopとJAZZを取り入れたダンス課題。グループでのフォーメーション練習。				
6	ストレッチ、アイソ	レーション、振り付け		HipHopとJAZZを取り入れが	HipHopとJAZZを取り入れたダンス課題。グループでのフォーメーション練習。			
7	ストレッチ、アイソ	レーション、振り付けチェック		HipHopとJAZZを取り入れたダンス課題。チェック。				
8	ストレッチ、アイソ	レーション、振り付けチェック		HipHopとJAZZを取り入れたダンス課題。チェック。				
9	ストレッチ、アイソ	レーション、リズムトレーニング		前期の復習。				
10	ストレッチ、アイソ	レーション、振り付け		HipHopとJAZZのアップテンポ課題。振り付け。				
11	ストレッチ、アイソ	レーション、振り付け		HipHopとJAZZのアップテンポ課題。振り付け。				
12	ストレッチ、アイソ	レーション、振り付け		HipHopとJAZZのアップテンポ課題。グループでのフォーメーション練習。				
13	ストレッチ、アイソ	レーション、振り付け		HipHopとJAZZのアップテンポ課題。グループでのフォーメーション練習。				
14	ストレッチ、アイソ	レーション、振り付けチェック		HipHopとJAZZのアップテンポ課題。チェック。				
15	ストレッチ、アイソ	レーション、振り付けチェック		HipHopとJAZZのアップテンポ課題。チェック。				
16	課題発表			グループ発表。				
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	5		
 ず績評価		%、学習意欲20%、積極性20% 以上)·B(70点以上)·C(60点以上)·	·D(59点以上)·[うためには白主紬3	ながら振付も変えてい 『も必要。発表のタイミ			
実務経	験教員の経歴	HipHopダン ⁻	サーとして15	- L 5年以上活躍。ア	イドルの振付も行	īう。		
美務経	験教員の経歴	HipHopダン	ケーとして15	ン年以上沽躍。ア·	1トルの振付も行	ヷ 。		

		T	Ī	<u>, </u>	K以 M / 1 / 4		
対象学科 声優科 科目名			取材				
担当教				務授業の有無		0	
対象コ [.]	ース	アナウンサー・リポーター コース	対象学年	1	開講時期	前期•後期	
必修・追	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間	
	要、目的、 進め方	1. 番組出演などの際に行う事前 2. 効果的インタビューの方法 3. 正確、かつ迅速に情報を伝え					
学習目 (到達日		無礼のない取材交渉やインタビ	ューからより良い	情報を提供する技術	析を習得する		
	ト・教材・参考 ・その他資料	NHK放送文化研究所編 NHK日 講談社「魅せる声」のつくり方 プリント配布	1本語発音アクセン				
回数		授業項目、内容		学習	♂方法•準備学習	┇∙備考	
1	取材とは?(5W1	Hを集める作業)		プリント配布			
2	敬語について			プリント配布			
3	取材先へのアポー	イントメント		プリント配布			
4	メモをとる(話して	いることの要点を素早き書く)					
5	原稿にする(聞い	たことを原稿にまとめる)					
6	①場所に関する耳	双材(様々な状況による取材)					
7	②人物に関する耳	双材(様々な状況による取材)					
8	③出来事に関する	る取材(様々な状況による取材)					
9	①で取材したこと	を原稿にまとめる		指定された尺に合わせること			
10	②で取材したこと	を原稿にまとめる		指定された尺に合わせること			
11	③で取材したこと	を原稿にまとめる		指定された尺に合わせること			
12							
13							
14	番組制作	授業にて取材した原稿を実際に	使用する	「番組制	作」「アナウンス」授	業との合同	
15							
16							
	<u> </u> 				 履修上の注意		
成績評価	美での出来60%、原	稿提出30%、学習意欲10% 以上)·B(70点以上)·C(60点以上)·	·D(59点以下)·D	やり方は教室で指導	なる発声・滑舌などの なる発声・滑舌などの いきるが、継続しなけ 復習が重要である。	力を身につける。	
宝淼怒	験教員の経歴		血 <i>传</i> 生!!	 	E.		
大小社	水が良い柱位		吹 像削	ir木クト性産IU±	<u> </u>		

(2)				三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	では多くしている	門字校 シラハス		
対象学	科	声優科	科目名					
担当教	員	広川 一義	実務授業の有無	務授業の有無				
対象コ [.]	ース	アナウンサー・リポーター コース	対象学年	2	開講時期	前期•後期		
必修∙遺	選択	必修	単位数	_	時間数	16時間		
	要、目的、 進め方	1. 正しい呼吸法・発声法を身に 2. クリアな発音・滑舌を身につい 3. 無声化・鼻濁音・舌の使い方	ける。	身につける。				
学習目 (到達日		無礼のない取材交渉やインタビ	ューからより良り	い情報を提供する技術	析を習得する			
	ト・教材・参考 ・その他資料	NHK放送文化研究所編 NHK日 講談社「魅せる声」のつくり方 プリント配布	本語発音アクセ	2ント辞典				
回数		授業項目、内容		学習	習方法∙準備学習	習•備考		
1								
2		実際のお店を取材		;	要:事前アポイント	メント		
3								
4								
5	人物(新潟	릥で活躍する芸人・アーティストな	ど)を取材	要:事前アポイントメント				
6								
7								
8		出来事(運動会など)を取材	要:事前アポイントメント			メント		
10								
11		合同授業用の原稿制作 						
12								
13		•						
14	番組制作	■授業にて取材した原稿を実際に	使用する	「番組制	「番組制作」「アナウンス」授業との合同			
15								
16								
	言 平	価方法・成績評価基準			履修上の注意			
成績評価		稿提出30%、学習意欲10% 以上)·B(70点以上)·C(60点以上)·	·D(59点以下)·[ムロナけを安った道	なる発声・滑舌などの ∮できるが、継続しな! 復習が重要である。)力を身につける。 ければ意味はない。		
実務経	験教員の経歴		映像制	一 训作業界経歴10年	Ę			
		•						

対象学科							
	京学科 声優科 科目名 			声楽			
担当教員	教員 西潟 明美 実績			務授業の有無			
対象コース	声優コース Vtuberコース	対象学年	1	開講時期	前期•後期		
必修∙選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間		
授業概要、目的、 授業の進め方	1. テキストを元に声楽の基礎を 2. 正しい音程を身につける。 3. ミュージカル対応もできるよう		導する。				
学習目標 (到達目標)	1. 声楽の基礎を身につける。	2. 正しい音程を	·身につける。 3. 音	域を広げる。			
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	音楽之友社 コールユーブンゲ 全音楽譜出版社 コンコーネ50						
回数	授業項目、内容		学習	習方法•準備学習	∄• 備考		
1 声楽のためのス	トレッチと呼吸 テキスト解説		歌うための身体の準備の作	上方、呼吸法を覚える。			
2 声楽のためのス	トレッチと呼吸 母音と子音の発音	Ŧ	歌うための声の出し方の基	一礎、口の開け方など修得。			
3 発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ		コールユーブンゲンNo3 a/c、コンコーネNo.2 練習。				
4 発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ		コールユーブンゲンNo3 a/c No4a/c、コンコーネNo.2 練習。				
5 発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ 校歌		コールユーブンゲンNo4 No6、コンコーネNo.2 校歌練習。				
6 発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ 校歌		コールユーブンゲンNo4 No8、コンコーネNo.3 校歌練習。				
7 発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ 校歌		コールユーブンゲンNo6 No8 No10、コンコーネNo.3 校歌練習。				
8 発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ 校歌		コールユーブンゲンNo10 No11、コンコーネNo.3 校歌練習。				
9 1学期の復習 コ	Iールユーブンゲン コンコーネ		1学期の復習。 コールユーブンゲンNo13、コンコーネNo.4 練習。				
10 発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ		コールユーブンゲンNo13、コンコーネNo.4 練習。				
11 発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ		コールユーブンゲンNo15、コンコーネNo.4 練習。				
12 発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ		コールユーブンゲンNo15、コンコーネNo.4 練習。				
13 発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ		コールユーブンゲンNo15 No17、コンコーネNo.4通し 練習。				
14 発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ ミュージカ	ル楽曲	コールユーブンゲンNo17 No18、コンコーネNo.7 ミュージカル楽曲A練習。				
15 発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ ミュージカ. 	ル楽曲	コールユーブンゲンNo17 No18、コンコーネNo.7 ミュージカル楽曲A練習。				
16 テスト			ミュージカル楽曲Aテスト。				
評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	t ————		
	%、学習意欲20%、積極性20% 以上)·B(70点以上)·C(60点以上)·	・D(59点以上)・D	吉傷・俳優もミューミ	、音程を正す意識がず ジカルに進出することも ・んでいかせる。			

		1	1		門字校 シラハ
対象学科	声優科	科目名		声楽	
担当教員	西潟 明美	美	務授業の有無		0
対象コース	声優コース Vtuberコース	対象学年	2	開講時期	前期·後期
必修•選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間
受業概要、目的、 受業の進め方	1. テキストを元に声楽の基礎を 2. 正しい音程を身につける。 3. ミュージカル対応もできるよう		尊する。		
学習目標 (到達目標)	1. 声楽の基礎を身につける。	2. 正しい音程を	身につける。 3. 音	域を広げる。	
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	音楽之友社 コールユーブンゲ 全音楽譜出版社 コンコーネ50				
回数	授業項目、内容		学習	習方法•準備学習	╬∙備考
1 発声 コールユー	ーブンゲン コンコーネ		コールユーブンゲン コンコ	コーネ 1年次の復習。	
2 発声 コールユー	ーブンゲン コンコーネ		コールユーブンゲン コンコ	コーネ 1年次の復習。	
3 発声 コールユー	ーブンゲン コンコーネ		コールユーブンゲンNo18、コンコーネNo.8 練習。		
4 発声 コールユー	ーブンゲン コンコーネ		コールユーブンゲンNo18、	コンコーネNo.8 練習。	
5 発声 コールユー	ーブンゲン コンコーネ ミュージカ	ル楽曲	コールユーブンゲンNo18、 ミュージカル楽曲B練習。	コンコーネNo.8	
6 発声 コールユー	ーブンゲン コンコーネ ミュージカ	ル楽曲	コールユーブンゲンNo18、 ミュージカル楽曲B練習。	コンコーネNo.8	
7 発声 コールユー	ーブンゲン コンコーネ ミュージカ	ル楽曲	コールユーブンゲンNo18、コンコーネNo.8 ミュージカル楽曲B練習。		
8 発声 コールユー	ーブンゲン コンコーネ ミュージカ	ル楽曲	コールユーブンゲンNo18、 ミュージカル楽曲B練習。	コンコーネNo.8	
9 身体レッスンとチ	ニェック コンコーネ		歌唱と目について確認。コ	ンコーネNo.8 No9	
10 体勢チェック コー	ールユーブンゲン コンコーネ		コールユーブンゲンNo18、	コンコーネNo.10 練習。	
11 発声 コールユー	ーブンゲン コンコーネ		コールユーブンゲンNo20 N 練習。	lo21、コンコーネNo.10	
12 発声 コールユー	ーブンゲン コンコーネ		コールユーブンゲンNo21b/ 練習。	∕ e 、コンコーネNo.11	
13 発声 コールユー	ーブンゲン コンコーネ ミュージカ	ル楽曲	コールユーブンゲンNo22e. ミュージカル楽曲C練習。	、コンコーネNo.17	
14 発声 コールユー	ーブンゲン コンコーネ ミュージカ	ル楽曲	コールユーブンゲンNo22e. ミュージカル楽曲C練習。	、コンコーネNo.17	
15 発声 ミュージカ	ル楽曲		ミュージカル楽曲C練習。		
16 テスト			ミュージカル楽曲Cテスト。		
·····································	· 価方法·成績評価基準			履修上の注意	ţ
	0%、学習意欲20%、積極性20% 以上)·B(70点以上)·C(60点以上)	D(59点以上)-D		、音程を正す意識が』 ジカルに進出することも らんでいかせる。	

(2)				四四	京映1家メナイグ 与	1門字校 シラハス	
対象学	科	声優科	科目名		ファシリテーシ	ョン	
担当教	員	矢頭 勲	5	実務授業の有無		×	
対象コ	ース	全コース	対象学年	1	開講時期	前期・後期	
必修·i		必修	単位数	_	単位時間数	16時間	
	要、目的、 進め方	1. 聞く・話すを円滑に行う知識(2. 敬語(丁寧語・謙譲語・尊敬語 3. 場に応じた正しい対応力を社	語)を理解する	例を使い理解する。			
学習目標 (到達目標) 社会人に向けてのコミュニケーション能力の必要性を理解し、仕事などの場で、人間関係を構築出来を得る。				系を構築出来る知識を			
	ト・教材・参考 ・その他資料	参考書「サーティファイ主催 コミ	ミュニケーション	能力検定初級」(問題	集含む)		
回数		授業項目、内容		学習	♂方法•準備学習		
1	コミュニケーション	とは?		P2 コミュニケー?	/ョンの必要性を考	える	
2	聞く力			P6~P9 目的に	即して聞く		
3	聞く力			P10~P14 傾聴·	P10~P14 傾聴·質問する		
4	話す力			P15~P17 目的8	を意識する		
5	話す力			P18~P22 話を約	且み立てる		
6	話す力			P23~P29 言葉?	と選び抜く		
7	話す力			P30~P35 表現·	P30~P35 表現·伝達する		
8	実践基礎1			P36~P39 来客応対			
9	実践基礎2			P40~P43 電話/	た対		
10	実践基礎3			P44~P48 アポイ	(ントメント・訪問・挨	拶	
11	実践基礎4			P49~P54 情報:	共有の重要性		
12	実践基礎5			P55~P59 チーク	ム・コミュニケーション	,	
13	実践応用1			P60~P65 接客·	営業		
14	実践応用2			P66~P71 クレー	-ム対応		
15	実践応用3			P72~P77 会議·	取材・ヒヤリング		
16	実践応用4			P78~P83 面接			
	評	価方法·成績評価基準			履修上の注意		
成績評価		%、実技試験25%、学習意欲10% 以上)∙B(70点以上)∙C(60点以上)∙		、 たコミュニケーション		。また、特に必要と感じ 進めて行くことで、より身 てください。	
実務経	験教員の経歴	=	コミュニケーシ		16年以上		

(2)				—————————————————————————————————————	示吠像グアイグ号	- 門字校 シラハス	
対象学	科	声優科	科目名		アフレコ		
担当教	員	松本さち	:	実務授業の有無		0	
対象コ·	ース	戸俊コース アナウンサー・リポーターコース オンライン声優コース 声優アーティストコース	対象学年	1	開講時期	前期•後期	
必修・遺	選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. プロ声優による実技指導。 2. アフレコ、ドラマCDの演じ方な 3. 声優としての意識を修得する					
学習目 (到達目	3目標 1. 声優としての基礎を身につける。 2. キャラクターや状況に合わせた演技ができる。						
	ト・教材・参考 ・その他資料	講師作成資料					
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	 習·備考	
1.2.3	自己紹介 発声	滑舌		オーディション必然の初歩的指導。	頃の自己紹介から開	開始。発声•滑舌練習	
4•5•6	発声 滑舌 距離	感		台本による距離原	悠の指導。		
7•8•9	言葉と表現			1つのワードで様	1つのワードで様々な表現練習。		
10-11-12	台詞と状況			台本の台詞から て台詞を伝える。	犬況をくみ取りながら	ら話す。相手に合わせ	
13-14-15	台詞と掛け合い			二人ずつの台詞の	の掛け合いと自分の)感情の変化。	
16-17-18	ドラマCD			台本の読み方、コ	・ャラクターの演じ方	うを確認しつつ練習。	
19-20-21	ドラマCD			マイクワークを加	マイクワークを加えての練習。		
22-23-24	ドラマCD			リハーサル。			
25•26•27	ドラマCD			収録。	収録。		
28-29-30	アニメアフレコA			台本の見方確認	台本の見方確認。練習。		
31·32· <i>33</i>	アニメアフレコA			キャラクターの動	キャラクターの動きや表情を確認して演じる。		
34.35.36	アニメアフレコA			マイクワークを加	マイクワークを加えての練習。		
37•38•39	外画アニメアフレコ	⊐В		Vチェック。外画化	Vチェック。外画作品の収録の違いを説明。練習。		
40•41•42	外画アニメアフレコ	⊐В		原音を聞きながら	練習。		
43•44•45	外画アニメアフレ	⊐В		役決め。原音を聞	きながら練習。		
46•47•48	外画アニメアフレ	⊐В		最終練習。(テス	~)		
	評 1	西方法·成績評価基準 			履修上の注意	₹	
成績評価	表)40%、基礎力309 □基準は、A(80点以 □とする。	%、学習意欲30% J上)·B(70点以上)·C(60点以上)·	·D(59点以上)・			重ねが必要。日々、自 こつながる。	
実務経	験教員の経歴	プ	ロダクション	所属の現役声優に	こよる授業		

(2)		_		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	京映像メテイグ専			
対象学	科	声優科	科目名		アフレコ			
担当教	員	松本さち	93	実務授業の有無		0		
対象コー	ース	戸懐コース アナウンサー・リポーターコース オンライン声優コース 声優アーティストコース	対象学年	2	開講時期	前期·後期		
必修∙遺	選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間		
	要、目的、 進め方	1. プロ声優による実技指導。 2. アフレコ、ドラマCDの演じ方が 3. 声優としての意識を修得する						
学習目標 1. 声優としての基礎を身につける。 2. キャラクターや状況に合わせた演技ができる。 (到達目標) 3. マイクワークを身につける。								
	ト・教材・参考 ・その他資料	講師作成資料						
回数		授業項目、内容		学習	♂方法・準備学習	♂•備考		
1.2.3	アニメアフレコC			キャラクターの動	きや表情を確認して	演じる。		
4•5•6	アニメアフレコC			マイクワークを加え	えての練習。			
7•8•9	アニメアフレコC			マイクワークを加え	えての練習。			
10-11-12	アニメアフレコC			最終練習。(テスト	終練習。(テスト)			
13•14•15	ボイスドラマA			キャラクターの心	情、繊細な表現を意	識。練習。		
16•17•18	ボイスドラマA			マイクワークを加え	えての練習。			
19•20•21	ボイスドラマA			リハーサル。	リハーサル。			
22•23•24	ボイスドラマA			最終練習。(テスト	-)			
25•26•27	外画吹替え実習			映像と台本のチェ	ック。			
28-29-30	外画吹替え実習			吹替え練習				
31•32• <i>33</i>	外画吹替え実習			吹替え練習				
34•35•36	外画吹替え実習			最終練習。(テスト	·)			
37•38•39	ボイスドラマB			キャラクターの心	情、繊細な表現を意	識。練習。		
40•41•42	ボイスドラマB			マイクワークを加え	えての練習。			
43-44-45	ボイスドラマB			リハーサル。				
46•47•48	ボイスドラマB			最終練習。(テスト	-)			
	評	価方法·成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>		
成績評価		%、学習意欲30% 以上)·B(70点以上)·C(60点以上)·	·D(59点以上)·[重ねが必要。日々、É こつながる。		
 実務経	験教員の経歴	プ	ロダクション	 所属の現役声優(こよる授業			
		l .						

(2)	2) 国際映像メティア専門学校 ンフハス 国際映像メティア専門学校 ンフハス					
対象学	科	声優科	科目名		PC&Webリテラシ	<i>,</i>
担当教	員	神田 幸司	実	務授業の有無		×
対象コ	ース	声優コース アナウンサー・リポーターコース オンライン声優コース	対象学年	1	開講時期	前期·後期
必修・〕	選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間
	要、目的、 進め方	1. 情報リテラシーに関する知識 2. パソコンに関する基礎知識	È			
学習目 (到達[PC, SNSに関する基礎知識 ビジネスソフトを中心に基礎使用	月方法			
	ト・教材・参考 ・その他資料	プリント配布				
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	習∙備考
1•2	情報リテラシー			情報を正しく選択	し解釈する	
3•4	情報リテラシー			情報を正しく選択	し解釈する	
5•6	情報リテラシー			ネット使用の注意	点 	
7•8	情報リテラシー			ネット使用の注意		
9•10	ソフト(Word)			文章作成		
11-12	ソフト(Word)			文章作成		
13•14	ソフト(Word)			文章作成		
15•16	ソフト(Word)			文章作成		
17•18	ソフト(Word)			文章作成		
19•20	ソフト(Word)			文章作成		
21-22	ソフト(Word)			文章作成		
23•24	ソフト(Word)			文章作成		
25•26	ソフト(Word)			文章作成		
27•28	ソフト(Word)			文章作成		
29•30	ソフト(Word)			文章作成		
31•32	ソフト(Word)			文章作成		
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>
成績評個		預提出50%、学習意欲10% 以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・	・D(59点以上)・D	PC操作に慣れなが	ら、知識・技術を習得。	
実務経	験教員の経歴					
		·				

2 国际映像メディア専門子校 シラハス					
対象学科	声優科	科目名		PC&Webリテラシ	<i>,</i> —
担当教員	神田 幸司	実	務授業の有無		×
対象コース	声優コース アナウンサー・リポーターコース オンライン声優コース	対象学年	2	開講時期	前期·後期
必修•選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 情報リテラシーに関する知識 2. パソコンに関する基礎知識	ž			
学習目標 PC, SNSに関する基礎知識 (到達目標) ビジネスソフトを中心に基礎使用方法					
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント配布				
回数	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	冒•備考
1・2 情報リテラシー			情報を正しく選択	し解釈する。復習。	
3・4 情報リテラシー			ネット使用の注意	点。復習。	
5•6 ソフト(Excel)			表計算		
7・8 ソフト(Excel)			表計算		
9・10 ソフト(Excel)			表計算		
11・12 ソフト(Excel)			表計算		
13・14 ソフト(Excel)			表計算		
15・16 ソフト(Excel)			表計算		
17・18 ソフト(Excel)			表計算		
19・20 ソフト(Excel)			表計算		
21・22 ソフト(Excel)			表計算		
23・24 ソフト(Excel)			表計算		
25・26 ソフト(PowerPoint	t)		プレゼンテーション		
27・28 ソフト(PowerPoint	t)		プレゼンテーション	,	
29・30 ソフト(PowerPoint	t)		プレゼンテーション	,	
31・32 ソフト(PowerPoint	t)		プレゼンテーション	,	
評 1	価方法·成績評価基準 			履修上の注意	Ī.
評価を不可とする。	以上)•B(70点以上)•C(60点以上)•	·D(59点以上)·D	PC操作に慣れなが	ら、知識・技術を習得。	
実務経験教員の経歴					

(2)	② 国際映像メティア専門学校 ンフハス 国際映像メティア専門学校 ンフハス					
対象学	科	声優科	科目名	=	業界研究∙就職	指導
担当教	員	鈴木 則子	実	務授業の有無		0
対象コ	ース	声優コース アナウンサー・リポーターコース オンライン声優コース	対象学年	2	開講時期	前期·後期
必修・遺	選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. オーディション対策(面接・書: 2. オーディション受験のための 3. プロダクションや養成所など、4. 声優志望者に対する進路指	実技対策を行う。 、声優業界に関す	- る知識習得		
	中習目標 1. オーディション面接の際の自己アピールカの強化。 2. オーディション用紙の書き方の習得。 3 到達目標) 台詞などの実技強化。 4. 声優業界に対する認識を深める。				の習得。 3. 滑舌や	
	ト・教材・参考 ・その他資料	講師作成資料				
回数		授業項目、内容		学習	冒方法・準備学習	習∙備考
1.2	声優になるための 実技課題)心構え		自身の状況把握と今後のの実力確認。	スケジュールを制作。オーディ	ィション実技課題(滑舌)にて自身
3•4	実技課題 プレゼンテーション	v		オーディション課題(滑舌・カプレゼンテーションについて	台詞)を練習 C説明	
5•6	実技課題 プレゼンテーション	<i>-</i>		オーディション課題(滑舌・プレゼンテーション課題発		
7•8	オーディション対象	表		面接の形式など指導。自己PRポイントの確認 自己PR練習		
9•10	オーディション対策	表		1分間自己PR発表		
11.12	オーディション対策	表		オーディション用紙の書きた	方指 導	
13.14	オーディション対策	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		オーディション用紙の書き方指導 質疑応答		
15•16	養成所・プロダクシ	ション研究		養成所・プロダクション説明会		
17•18	テスト			面接形式によるテスト		
19•20	養成所・プロダクシ	ション研究		養成所・プロダクション説明	会	
21.22	養成所・プロダクシ	ション研究		養成所・プロダクション説明	会	
23•24	進学指導			進学における相談と指導		
25•26	養成所・プロダクシ	ション研究		養成所・プロダクション説明	会	
27•28	養成所・プロダクシ	ション研究		養成所・プロダクション説明	合会	
29•30	オーディション対策	表		オーディション受験の総括	指導	
31•32	テスト			面接形式によるテスト		
	評	価方法·成績評価基準 			履修上の注意	意
成績評価		%、提出物20%、実技20% 以上)·B(70点以上)·C(60点以上)·	·D(59点以上)·D			識を習得し、各々の目標 計画を立て、実力向上を
実務経	験教員の経歴	演技	 者・ナレーター	-として10年以上	-経験を積む	
		•				

2	全/ 国际吹塚メディア専門子校 グラバス 国际吹塚メディア専門子校 グラバス						
対象学	 科	声優科	科目名	社	会人常識マナ-		
担当教	· 員	鈴木 則子	実	- 務授業の有無		×	
対象コ	ース	全コース	対象学年	1	開講時期	前期・後期	
必修∙遺	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間	
	要、目的、 進め方	1. 社会人、組織の一員として必 2. 人として必要な知識やビジネ 3. 良好な人間関係を築くための	スマナーを修得す	^ト る。			
学習目(到達目		1.社会常識を理解する。2.ビジネスマナーの基礎を理解する。5.ネ				子身につける。4.ビジネ	
	ト・教材・参考 ・その他資料	公益社団法人 全国経理教育協公益社団法人 全国経理教育協				₹3 級	
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	習•備考	
1	社会人常識マナー検定試! 社会と組織1	· 験について		社会人としての自覚やキャ	リア、会社組織について。テ	キストP1~20	
2	社会と組織2			組織と役割、社会	変化とその対応。	テキストP22~32	
3	仕事と組織			目標の重要性、主	体性と組織運営。	テキストP34~54	
4	一般常識1			社会常識の基礎用語。漢字など。テキストP56~70			
5	一般常識2			社会常識の基礎原	社会常識の基礎用語。用語など。テキストP70~86		
6	ビジネスコミュニケ	ケーション 言葉遣い		人間関係とコミュニケーショ	ョン。敬語と話し方。テキストF	P102~144	
7	ビジネス文書			ビジネス文書の特徴。社内文書。テキストP146~156			
8	ビジネスマナー			組織の一員としてのマナー。来客応対。テキストP176~196			
9	定期試験			テストと解説。			
10	電話対応			電話対応の重要性。電話の受け方、掛け方の心得。テキストP202~214			
11	交際業務			慶事・弔辞のマナー。テキストP128~238			
12	文書類の受け取り	リと発送		受発信文書の取り扱い。オフィス環境。テキストP242~249			
13	計算			ビジネスにおける	計算。数式。テキス	.FP90~99	
14	日本			都道県名・県庁所	在地・各県の特色	など。	
15	検定対策①			過去問題の解説、	確認。		
16	検定対策②			過去問題の解説、	確認。		
	評	価方法·成績評価基準 			履修上の注意	<u> </u>	
成績評価		6、実技試験25%、学習意欲10% 以上)∙B(70点以上)∙C(60点以上)∙		社会人として必要なと、社会への意識を		。検定合格は勿論のこ	
実務経	験教員の経歴	専門学	学校教員として	19年間、学生の	育成に従事。		

対象学科		声優科	科目名		動画制作配信	5
担当教員		菅家 将次	身	ミ務授業の有無		0
対象コース		声優コース アナウンサー・リポーターコース オンライン声優コース	対象学年	1	開講時期	前期・後期
必修·選択		必修	単位数	_	単位時間数	32時間
授業概要、E 授業の進め2		1. 配信に関する知識 2. パソコンでの製作に関する基 3. アプリケーションに関する基本				
学習目標 (到達目標)		PC, SNSに関する基礎知識 プレゼンテーション動画を制作し	八配信			
テキスト・教 図書・その		PC・iPadなど				
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	習∙備考
1・2 情報リ	テラシー			ネット使用の注意	点	
3•4 Twitte	rについて			セルフプロモーシ	ョン活用法	
5•6 Instag	ram			セルフプロモーション活用法		
7•8 Youtuk	ре			セルフプロモーシ	ョン活用法	
9•10 Instag	ram			セルフプロモーシ	ョン活用法	
11•12 撮影				画像		
13•14 撮影				画像		
15•16 Twitte	r配信			効果的配信とは		
17•18 Twitte	r配信			効果的配信とは		
19•20 撮影				動画		
21•22 撮影				動画		
23 • 24 Instag	ram			効果的配信とは		
25•26 Instag	ram			効果的配信とは		
27 • 28 Youtul	oe			効果的配信とは		
29 • 30 Youtul	oe			効果的配信とは		
31 • 32 Youtul	oe			効果的配信とは		
	評	両方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>
	ま、A(80点り	∄提出50%、学習意欲10% 以上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以上)・□		使用出来るフリーソフト	を確認。授業内で知
r÷i ₹₩ ₩₽ ŒΔ ₩L	 員の経歴			_ [『] ロダクション代表	<u>.</u>	

対象学科 担当教員 対象コース	声優科	科目名		動画制作配信	=	
	英字 板边			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	=	
 対象⊐ース	菅家 将次 ————————————————————————————————————	実	系授業の有無 ・		0	
	声優コース アナウンサー・リポーターコース オンライン声優コース	対象学年	2	開講時期	前期・後期	
必修•選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間	
技术例安、日町、 極業の進め士	1. 配信に関する知識 2. パソコンでの製作に関する基 3. アプリケーションに関する基本					
	PC, SNSに関する基礎知識 プレゼンテーション動画を制作し)、配信				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	PC・iPadなど					
回数	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	 習•備考	
1・2 フリーソフト紹介お	よび使用方法①		画像·動画			
3・4 フリーソフト紹介お	よび使用方法②		画像•動画			
5・6 フリーソフト紹介お	よび使用方法③		画像·動画			
7・8 フリーソフト紹介お	よび使用方法④		音楽・サウンド編集	 集		
9・10 フリーソフト紹介お	よび使用方法⑤		音楽・サウンド編集	 集		
11・12 フリーソフト紹介お	よび使用方法⑥		音楽・サウンド編集	 集		
13・14 画像・イラストソフト	トについて①		illustrator•photos	illustrator•photoshop		
15・16 画像・イラストソフト	とこいて②		illustrator•photoshop			
17・18 画像・イラストソフト	トについて③		illustrator•photos	hop		
19・20 画像・イラストソフト	トについて④		illustrator•photos	hop		
21・22 画像・イラストソフト	トについて⑤		illustrator•photos	hop		
23・24 画像・イラストソフト	トについて⑥		illustrator•photos	hop		
25・26 動画ソフトについて	\mathfrak{C}		Final Cut Pro			
27・28 動画ソフトについて	<u> </u>		Final Cut Pro			
29・30 動画ソフトについて	<u> </u>		Final Cut Pro	Final Cut Pro		
31・32 動画ソフトについて	-		Final Cut Pro			
 評(西方法・成績評価基準			履修上の注意		
ソフト使用上達度40%、課題 成績評価基準は、A(80点り 評価を不可とする。	提出50%、学習意欲10% ↓上)・B(70点以上)・C(60点以上)	D(59点以上)-D		使用出来るフリーソフト	トを確認。授業内で知識・	
実務経験教員の経歴		配信フ	プロダクション代表	₹		

		,				門字校シフハス	
対象学	科	声優科	科目名		司会・トーク		
担当教	員	関根 美紀	5	実務授業の有無 		0	
対象コ-	ース	声優コース アナウンサー・リポーターコース オンライン声優コース	対象学年	1	開講時期	前期・後期	
必修∙選		必修	単位数	_	単位時間数	16時間	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. コミュニケーション力を高める 2. 視覚・聴覚から好感を持たれ 3. 個々の発表を増やし、トーク	る心得を修得す	っる。			
学習目標 (到達目標) 正しい言葉遣いで、好感の持てる話し方ができる。							
	ト・教材・参考 ・その他資料	講師作成資料					
回数		授業項目、内容		学習	習方法•準備学習		
1	自己紹介			話し方、表情など	チェック。		
2	社会で必要とされ	るコミュニケーション		コミュニケーション	の重要性を確認。		
3	コミュニケーション	目標の設定		個々の弱点と改善	個々の弱点と改善目標の発表。		
4	第一印象			第一印象の重要性	生と自己チェック。		
5	自己表現			テーマ別に発表。	表現方法の違いを	准認 。	
6	集団の中での自己	己主張		グループディスカ	ッションと発表。		
7	話し方			起承転結のある記	話し方を学ぶ。		
8	話し方			文法と話し方のコ	文法と話し方のコツを学ぶ。		
9	話し方			起承転結、話し方	のコツを活かして発	表。	
10	プレゼンテーション	ν1		テーマに基づいた	:個人プレゼンテーシ	ノョン 。	
11	プレゼンテーション	ν1		テーマに基づいた	:個人プレゼンテーシ	ノヨン 。	
12	プレゼンテーション	/2		テーマに基づいた	テーマに基づいたグループプレゼンテーション。		
13	プレゼンテーション	/2		テーマに基づいた	<u>-</u> グループプレゼンラ	ーション。	
14	相互チェック			2・3人で話し方ヂ	ェック。		
15	1分間トーク			テーマに基づき、	時間を意識して話す	· ·練習。	
16	1年間の振り返り	総合チェック		テーマに基づき、	時間を意識して話す	 ·_。発表。	
	評	価方法·成績評価基準 			履修上の注意	5.	
成績評価		カ30%、学習意欲30%、アピール 以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・		また プレゼンテージ	識しながらトークをさせ ション回数を多くするこ	さる。 とによって、人前で話	
 実務経	験教員の経歴	アナウ	フンサー、司会	 会者として20年以	上経歴を積む		

	T	1			子門子校 ンプハ	
対象学科	声優科	科目名		司会・トーク	1	
坦当教員	関根 美紀	5	実務授業の有無		0	
対象コース	声優コース アナウンサー・リポーターコース オンライン声優コース	対象学年	2	開講時期	前期・後期	
必修∙選択	必修	単位数	_	時間数	16時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 基礎的アナウンスカの徹底。 2. 司会現場に応じた言葉遣いる 3. 実践力の育成。					
学習目標 (到達目標)	イベント及びブライダルの基本的	内な進行と台本作	作成。			
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	講師作成資料					
回数	授業項目、内容		学習	習方法•準備学	習∙備考	
1 司会とは			司会の種類とそれ	いぞれの心構えを訪	行明。	
2 イベント司会			司会原稿読みの紹	東習と発表。		
3 イベント司会			インタビュー練習の	インタビュー練習と発表。		
4 イベント司会			イベント司会の組	み立てと練習。(イ	ンタビュー含む)	
5 イベント司会			前回のイベント司	会の発表。フィード	バック。	
6 ラジオ番組進行			ラジオ公開生放送	をイメージ。進行内	内容を考え、練習。	
7 ラジオ番組進行			前回のラジオ公開	生放送練習の発表	長。フィードバック。	
8 講演会司会			講演会の司会進行	亍練習 。		
9 講演会司会			講演会の司会進行	ラ練習と発表。		
10 ブライダル司会			ブライダルについ	ブライダルについて、心構えや注意点など説明。		
11 ブライダル司会			新郎新婦プロフィ	ール作成。言葉遣い	ハの徹底。	
12 ブライダル司会			ブライダル進行台	本の作成。		
13 ブライダル司会			ブライダル進行練	習。		
14 ブライダル司会			ブライダル進行発	表。		
15 パーティ司会			パーティ司会(ボジ	ジョレーヌーボイベ <u>ン</u>	ント)の練習。	
16 テストとまとめ			テストと振り返り。			
評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	意 	
	力30%、学習意欲30%、アピール 以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・		また プレゼンテージ	識しながらトークをさ ノョン回数を多くするこ	せる。 ことによって、人前で話	
実務経験教員の経歴	アナウ	フンサー、司会	 会者として20年以	 上経歴を積む		

(②						
対象学科		声優科	科目名		i-MEDIAゼミ		
担当教員		鈴木 則子	5	実務授業の有無		0	
対象コ	ース	全コース	対象学年	1	開講時期	前期・後期	
必修∙遺	選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間	
	要、目的、 進め方	1. 毎回、特別講師をお招きして 2. 講演会のみに留まらず、実習 3. 全ての在校生および教職員	習・演習形式もむ	がえる。			
学習目標 (到達目標)		著名なゲスト先生によりスペシャルなトークになります。貴重な経験が出来、人生において大切なことが学ます。					
	ト・教材・参考 ・その他資料	講師の事前資料あり					
回数		授業項目、内容		学習	習方法•準備学習		
1-2	スペシャルゲスト	講師①				ューサー・お笑い芸	
3-4	スペシャルゲスト	講師②		──人・イベントプロテ チューバーなど ──	[·] ューサー•歌手•教		
5•6	スペシャルゲスト	講師③					
7-8	スペシャルゲスト	講師④					
9-10	スペシャルゲスト	講師⑤					
11-12	スペシャルゲスト講師⑥						
13-14	スペシャルゲスト	講師⑦					
15-16	スペシャルゲスト	講師⑧					
17•18	スペシャルゲスト	講師⑨					
19-20	スペシャルゲスト	講師⑪					
21 - 22	スペシャルゲスト	講師⑪					
23-24	スペシャルゲスト	講師①					
25-26	スペシャルゲスト	講師③					
27-28	スペシャルゲスト	講師⑭					
29-30	スペシャルゲスト	講師⑮					
31 • 32	スペシャルゲスト	講師⑮					
	評	価方法·成績評価基準			履修上の注意	· 3	
成績評価	授業態度と出席璃で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 評価を不可とする。					配布します。必ず事前	
実務経験教員の経歴業界関係者を招聘したオムニバス形式							
			_				

対象学科 声優科 利目名	<u>~</u>		1		<u> </u>	10 (130) 1 / N		
対象コース 32~4 対象学年 2 開議時期 前期・後期 必修・選択 必修 単位数 一 単位時間数 32時間 授業 (根本)	対象学科 声優科 科目名				i-MEDIAゼミ			
数修・選択 数修 単位数 単位時間数 32時間 接換 接換 接換 単位数 一 単位時間数 32時間 接換 接換 接換 接換 接換 接換 接換 接	担当教員		鈴木 則子	5	実務授業の有無	0		
世来版要、目的、 技術の進め方	対象コース		全コース	対象学年	2	開講時期	前期·後期	
2. 満済金のみに留まらず、実習・済習形式もありえる。 3. 全ての在校生および教職員が一緒に安満する。 学習目標	必修•遺	選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間	
(到達目標) ます。			2. 講演会のみに留まらず、実習	習・演習形式もな	ありえる。			
図書・その他資料							って大切なことが学べ	
1・2 スペシャルゲスト講師①			講師の事前資料あり					
1-12 スペシャルゲスト講師②	回数		授業項目、内容		学音	習方法•準備学習	ੂ ⋴ ⋴ ⋴	
3・4 スペシャルゲスト講師②	1 • 2	スペシャルゲスト	講師①		声優・アーティスト			
7・8 スペシャルゲスト講師® 9・10 スペシャルゲスト講師® 11・12 スペシャルゲスト講師® 11・12 スペシャルゲスト講師® 11・13 スペシャルゲスト講師® 15・16 スペシャルゲスト講師® 17・18 スペシャルゲスト講師® 19・20 スペシャルゲスト講師® 21・22 スペシャルゲスト講師® 21・22 スペシャルゲスト講師® 22・24 スペシャルゲスト講師® 22・26 スペシャルゲスト講師® 22・27・28 スペシャルゲスト講師® 22・28 スペシャルゲスト講師® 31・32 スペシャルゲスト講師® 31・32 スペシャルゲスト講師® 運師 万法・成績評価基準 履修上の注意 「歴修上の注意 本前に講師のプロフィールや資料を配布します。必ず事評価を不可とする。	3•4	スペシャルゲスト	講師②			⁻ューサー・歌手・教	育関係者・ユー	
9・10 スペシャルゲスト講師⑤ 11・12 スペシャルゲスト講師⑥ 13・14 スペシャルゲスト講師⑥ 15・16 スペシャルゲスト講師⑥ 17・18 スペシャルゲスト講師⑩ 19・20 スペシャルゲスト講師⑪ 21・22 スペシャルゲスト講師⑪ 23・24 スペシャルゲスト講師⑪ 25・26 スペシャルゲスト講師⑪ 27・28 スペシャルゲスト講師⑪ 31・32 スペシャルゲスト講師⑯ 評価方法・成績評価基準 履修上の注意 授業態度と出席瑞で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 「物強して受講下さい。	5•6	スペシャルゲスト	講師③					
11・12 スペシャルゲスト講師® 15・16 スペシャルゲスト講師® 17・18 スペシャルゲスト講師® 17・18 スペシャルゲスト講師® 19・20 スペシャルゲスト講師® 21・22 スペシャルゲスト講師® 21・22 スペシャルゲスト講師® 22・24 スペシャルゲスト講師® 22・26 スペシャルゲスト講師® 29・30 スペシャルゲスト講師® 31・32 スペシャルゲスト講師® 31・32 スペシャルゲスト講師® 31・32 スペシャルゲスト講師® 評価方法・成績評価基準 履修上の注意	7•8	スペシャルゲスト	講師④					
13・14 スペシャルゲスト講師® 17・18 スペシャルゲスト講師® 17・18 スペシャルゲスト講師® 19・20 スペシャルゲスト講師® 19・20 スペシャルゲスト講師® 21・22 スペシャルゲスト講師® 23・24 スペシャルゲスト講師® 25・26 スペシャルゲスト講師® 27・28 スペシャルゲスト講師® 29・30 スペシャルゲスト講師® 31・32 スペシャルゲスト講師® 31・32 スペシャルゲスト講師® 29・30 スペシャルゲスト講師® 31・32 スペシャルゲスト講師® 評価方法・成績評価基準 履修上の注意 接撃態度と出席項で評価する。成績評価基準は、人(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 1に勉強して受講下さい。	9-10	スペシャルゲスト	講師⑤					
15・16 スペシャルゲスト講師® 17・18 スペシャルゲスト講師® 19・20 スペシャルゲスト講師® 19・20 スペシャルゲスト講師® 21・22 スペシャルゲスト講師® 23・24 スペシャルゲスト講師® 25・26 スペシャルゲスト講師® 27・28 スペシャルゲスト講師® 29・30 スペシャルゲスト講師® 31・32 スペシャルゲスト講師®	11-12	スペシャルゲスト	講師⑥					
17・18 スペシャルゲスト講師® 19・20 スペシャルゲスト講師® 21・22 スペシャルゲスト講師® 23・24 スペシャルゲスト講師® 25・26 スペシャルゲスト講師® 25・26 スペシャルゲスト講師® 29・30 スペシャルゲスト講師® 31・32 スペシャルゲスト講師® 31・32 スペシャルゲスト講師® 源価方法・成績評価基準 履修上の注意	13-14	スペシャルゲスト	講師⑦					
19・20 スペシャルゲスト講師① 21・22 スペシャルゲスト講師① 23・24 スペシャルゲスト講師② 25・26 スペシャルゲスト講師③ 27・28 スペシャルゲスト講師③ 31・32 スペシャルゲスト講師⑤ 31・32 スペシャルゲスト講師⑥ 評価方法・成績評価基準 慶修上の注意 授業態度と出席項で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 評価を不可とする。	15•16	スペシャルゲスト	講師⑧					
21・22 スペシャルゲスト講師① 23・24 スペシャルゲスト講師② 25・26 スペシャルゲスト講師③ 27・28 スペシャルゲスト講師③ 31・32 スペシャルゲスト講師⑤ 31・32 スペシャルゲスト講師⑥ 評価方法・成績評価基準 履修上の注意 授業態度と出席璃で評価する。 成績評価基準(よ、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 評価を不可とする。	17•18	スペシャルゲスト	講師⑨					
23・24 スペシャルゲスト講師① 25・26 スペシャルゲスト講師③ 27・28 スペシャルゲスト講師③ 29・30 スペシャルゲスト講師⑤ 31・32 スペシャルゲスト講師⑥ 評価方法・成績評価基準 履修上の注意 授業態度と出席璃で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 評価を不可とする。	19-20	スペシャルゲスト	講師⑩					
25・26 スペシャルゲスト講師® 27・28 スペシャルゲスト講師® 29・30 スペシャルゲスト講師® 31・32 スペシャルゲスト講師® 評価方法・成績評価基準 履修上の注意 授業態度と出席璃で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 評価を不可とする。	21-22	スペシャルゲスト	講師⑪					
27・28 スペシャルゲスト講師⑪ 29・30 スペシャルゲスト講師⑮ 31・32 スペシャルゲスト講師⑯ 評価方法・成績評価基準 履修上の注意 授業態度と出席璃で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 評価を不可とする。	23-24	スペシャルゲスト	講師①					
29・30 スペシャルゲスト講師⑮ 31・32 スペシャルゲスト講師⑯ 評価方法・成績評価基準 履修上の注意 授業態度と出席璃で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 評価を不可とする。	25-26	スペシャルゲスト	講師③					
31・32 スペシャルゲスト講師® 評価方法・成績評価基準 履修上の注意 授業態度と出席璃で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 評価を不可とする。	27•28	スペシャルゲスト	講師⑭					
評価方法・成績評価基準 履修上の注意 授業態度と出席璃で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 評価を不可とする。	29-30	スペシャルゲスト	講師⑤					
授業態度と出席璃で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 評価を不可とする。	31-32	スペシャルゲスト	講師⑥					
授業態度と出席璃で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 評価を不可とする。								
授業態度と出席璃で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 評価を不可とする。								
事前に講師のプロフィールや資料を配布します。必ず事成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D に勉強して受講下さい。		評	価方法·成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>	
実務経験教員の経歴業界関係者を招聘したオムニバス形式	事前に講師のプロフィールや資料を配布します。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D				配布します。必ず事前			
PROPERTY OF THE PROPERTY OF TH	実務経	験教員の経歴	Ì	業界関係者を	を招聘したオムニ	バス形式		

と								
対象学	科	声優科		卒業進級制作				
担当教員		務授業の有無	0					
対象コース		全コース	対象学年	1	開講時期	後期		
必修・遺	選択	必修	単位数	_	時間数	260時間		
	要、目的、 進め方	1. 制作プロセスの経験と発表 2. 各自、これまで学んだことを記	基本に企画からる	、番までを実施				
	学習目標 (到達目標) 全期授業の集大成としての朗読・演劇・アフレコその他の制作および公演							
	ト・教材・参考 ・その他資料	舞台制作に関する必要物(台本	その他)の配布					
回数		授業項目、内容		学習	学習方法·準備学習·備考			
1~13	企画立案			どんな舞台を作る	(演劇・ミュージカル	ノ・その他)		
14~27	企画書作成			テーマ・コンセプト・	テーマ・コンセプト・ターゲット決め			
28~40	企画書作成			内容				
41~53	企画書作成			予算・スケジュール	・組織図・その他			
54~66	台本作成			資料収集				
67~79	台本作成			基本的構成決定~ラフ台本完成				
80~92	台本作成			台本完成				
93~105	稽古期間			衣装·大道具·小道具作成				
106~118	稽古期間			衣装・大道具・小道具作成				
119~131	稽古期間			衣装·大道具·小道具作成				
132~144	稽古期間			音響・照明プランニング				
145~157	稽古期間			音響・照明プランニング				
158~170	稽古期間			音響・照明プランニング				
171~183	稽古期間			音響・照明プランニング				
184~196	稽古期間			最終チェック				
197~209	リハーサル		会場入り(通し)					
210~222	リハーサル		会場入り(通し)					
223~236	リハーサル		会場入り(通し)					
237~249	ゲネラルプローベ							
250~260 本番			評価					
	 評	価方法・成績評価基準			履修上の注意			
成績評価 評価を不	評価50%、制作過程での進捗状況20%、学習意欲30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以上)・D 評価を不可とする。							
実務経	験教員の経歴	専門学	や校教員として	19年間、学生の	育成に従事。			

				国際映作 	象メディア専門学	学校 シラバス
対象学	!科	声優科	科目名		卒業進級制化	F
担当教		鈴木則子		実務授業の有無		0
対象コ	ー ス	全コース	対象学年	2	開講時期	後期
必修・〕	選択	必修	単位数	_	時間数	260時間
	要、目的、 進め方	1. 制作プロセスの経験と発表 2. 各自、これまで学んだことを	基本に企画から	本番までを実施		
学習目(到達		前期授業の集大成としての朗語	た・演劇・アフレコ	その他の制作および	公演	
	ト・教材・参考 ・その他資料	舞台制作に関する必要物(台本	その他)の配布			
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	習∙備考
1~13	企画立案			どんな舞台を作る	(演劇・ミュージカル	・・その他)
14~27	企画書作成			テーマ・コンセプト	・ターゲット決め	
28~40	企画書作成			内容		
41~53	企画書作成			予算・スケジューノ	レ・組織図・その他	
54~66	台本作成			資料収集		
67~79	台本作成			基本的構成決定~	~ラフ台本完成	
80~92	台本作成			台本完成		
93~105	稽古期間			衣装·大道具·小道	道具作成	
106~118	稽古期間			衣装·大道具·小道	道具作成	
119~131	稽古期間			衣装・大道具・小道	 道具作成	
132~144	稽古期間			音響・照明プランニ	ニング	
145~157	稽古期間			音響・照明プランニ	ニング	
158~170	稽古期間			音響・照明プランニ	ニング	
171~183	稽古期間			音響・照明プランニ	ニング	
184~196	稽古期間			最終チェック		
197~209	リハーサル			会場入り(通し)		
210~222	リハーサル			会場入り(通し)		
223~236	リハーサル			会場入り(通し)		
237~249	ゲネラルプローベ					
250~260	本番			評価		
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>
成績評値 評価を不	西基準は、A(80点以 ▽可とする。	捗状況20%、学習意欲30% 以上)・B(70点以上)・C(60点以上)				
<u> </u>	験教員の経歴	専門等	ア校教員として	〔19年間、学生の	育成に従事。	

<u>(2)</u>				国图	宗映像メナイバ 県	専門学校 シラバス	
対象学	科	声優科	科目名	ボ	イスライブラリー	一制作	
担当教	員	鈴木 則子	実	務授業の有無		0	
対象コー	ース	声優コース アナウンサー・リポーターコース オンライン声優コース	対象学年	1	開講時期	前期∙後期	
必修∙遺	選択	必修	単位数	_	時間数	32時間	
授業概要、目的、 担業の進め方 1. 仕事として現場から求められるナレーター・声優とは何 2. 原稿や宣材資料の作成などにより、自己プロデュースで 3. ナレーション収録を行うことにより、技術向上と経験を習				ゴュース力を育成する			
	学習目標 1. ナレーション技術の向上。2. 文章作成力の向 (到達目標) 4. スタジオマナーの習得。			上。3. 一人ナレーシ	ョンにおけるマイク	ワークを習得する。	
	ト・教材・参考 ・その他資料	講師作成資料					
回数		授業項目、内容		学習	習方法•準備学習	習∙備考	
1•2	求められる人材と	ボイスライブラリーの意義		ボイスライブラリー 実際のナレーション		明 	
3•4	ナレーション課題	·····································		ナレーション課題総	東習①「本来の声を		
5•6	ナレーション課題	練習2		ナレーション課題総ナレーション原稿化		-を活かす」 -を活かす」	
7•8	原稿作成1			原稿作成について ナレーション原稿(
9•10	原稿作成2			ナレーション原稿制作 選曲について説明(BGM・SE探し開始)			
11-12	原稿チェックと選曲	± 1		ナレーション原稿チェック 選曲チェック(候補曲確認)			
13•14	原稿チェックと選曲	± 2		ナレーション原稿チェック 選曲チェック(候補曲確認)			
	原稿チェックと選由			ナレーション原稿チェック 選曲チェック(候補曲確認)			
17•18	ナレーション原稿;プロフィール制作	決定 1		ナレーション原稿決定 宣材写真・衣装について説明			
	収録用ナレーショ			収録用ナレーション	ン練習1		
21-22	収録用ナレーショ: プロフィール制作:	ン練習2 2		収録用ナレーション 宣材写真衣装チェ			
23-24	収録用ナレーショ	ン練習3		スタジオにてナレーション練習			
	ナレーション仮収録			スタジオにてナレーション仮練習			
27•28	収録用ナレーショ: プロフィール制作:	ン練習4 3 		仮収録における音声チェック プロフィール原稿作成について説明			
29	ナレーション本収録	录		ナレーション本収録	*		
30	宣材写真撮影			プロフィール宣材等	写真撮影		
31	プロフィール制作	4		プロフィール自己アピール文作成			
32	32 プロフィール制作5			プロフィールデータの作成			
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	意	
成績評価 価を不可	5基準は、A(80点じ とする。	作成25%、収録25%、学習意欲2 以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・	D(59点以上)•D評	いなければ現場には 自身の声を知り自身 ンとは何かを考察させ	行けないということを の声を活かし、また、 せる。		
天猕暀	:験教員の経歴	澳拉	、白・厂レーダー	<u>として10年以上</u>	- 在駅で傾し		

2] 国际	祭映像メディア専	門学校 シラバス
対象学	——— 科	声優科	科目名		ビジネス著作材	 在
担当教	員	神田 幸司	実績	 努授業の有無		×
対象コ·	ース	全コース	対象学年	2	開講時期	前期・後期
必修∙遠	選択	必修	単位数	1	単位時間数	16時間
	要、目的、 進め方	1. 著作権の基本的知識習得を 2. 前期、教科書中心に授業を行 3. 実際の判決例などを取り入れ	テい、後期は問題第			
	目標) 	1. 著作権の基本的知識が理解				√7 ~ ⊀)
図書	・その他資料	こうかへもTF性快に公式!すべ	.r(')4	ノベヘ石 IF惟快足1	が	12,71)
回数		授業項目、内容		学 	習方法∙準備学習	₽• 備考
1	著作権とは何か			イントロダクション・著	子作権の性質・著作権 活	よの目的
2	著作権で保護され	Lるもの		著作物の定期・著作物該当 著作物の例示・特別な著作	4性に関するその他の問題点物 教科書P1~P19	
3	著作権は誰が持つ	>		著作者の定義・著作者の例外・著作者と著作権者 教科書P23~29		
4	著作権の内容 1			著作権の内容・著作者人格権・公表権・氏名表示権・同一性保持権・一身専属性 教科書P31~P41		
5	著作権の内容 2			財産権の内容・複製権・上演権及び演奏権、上映権・公衆送信権・貸与権、譲渡権、二次的著作権 教科書P43~P59		
6	著作権は誰が持つ	ついつまで保護される		著作権の始期・著作権の係 教科書P63~P69	€護期間・国際的保護	
7	他人の著作物は胴	券手に使えない		著作権の譲渡・利用許諾・契約 教科書P73~P77		
8	勝手に使える場合	がある		権利制限規定・私的使用・不随的著作物・教育・図書・非営利無償の上演、演奏・引用転載 教科書P83~P101		
9	著作物を伝達する	る者を保護する制度		著作隣接権(実演家)(レコード製作者)(放送事業者・有線放送事業者)・隣接権保護期間 教科書P117~P129		
10	勝手に使うとどうな	なるか		著作権の侵害・みなし侵害・著作権侵害罪・民事的対策 教科書P133~P145		
11	著作権に関する関	厚連制度		知的財産権制度・情報モラ 教科書P149~P155	ラルと著作権	
12	産業財産権とは			特許権・実用新案権・意匠プリント配布	権・商標権	
13	ビジネスと法・著作	「物に関する基礎知識・著作者と	は	問題集P8~P17 確	記テストおよび解答・魚	翠説
14	著作者の権利・著	作隣接権・著作権を無断で利用	できる例外	問題集P18~P32	確認テストおよび解答	▪解説
15	著作権の変動・著	作権の侵害と権利救済・著作権	法とその周辺	問題集P33~P40	確認テストおよび解答	・解説
16	模擬試験(過去問	題より重要部分を出題)		答え合わせおよび解	説	
	評	価方法·成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>
	Б基準は、A(80点じ	%、確認テスト合計点20%、学習 J上)・B(70点以上)・C(60点以上)・			らんですが、芸能ビジネ	験不可とする。 検定合析 ・スでは重要な知識とな
実務経	験教員の経歴	ビジュ	ネス著作権指導	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	MBAホルダー	

(2) 国際映像メディア専門学校 シラバス						
対象学科	声優科	科目名		実践行動学		
担当教員	若狭 利之		実務授業の有無		0	
対象コース	全コース	対象学年	1	開講時期	前期	
必修・選択	必修	単位数		単位時間数	15時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 前期1回、後期2回実施 2. 人間力(自主性・プラス思考・ 3. Part1~Part3を毎回グルー					
学習目標 (到達目標) 将来に対する目標設定・プラス思考・働くことへ		、のモチベーション向 ₋	Ł			
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	実践行動学テキスト配布 実践	行動学研究所				
回数	授業項目、内容		学	習方法∙準備学習	♂•備考	
1 Part1 マジックト	・ア1 		夢と目標 P1~F	77		
2 Part1 マジックト	·72		誤った思い込みと	<言い訳 P8∼P13		
3 Part1 マジックト	·73		行動のよりどころ	と心構え P14~P2	22	
4 Part1 マジックト	· ア4		まず第1歩を P2	23~P32		
5 Part1 マジックト	· ・ ・ ア5		目標設定しよう	P33~P38		
6 Part2 マジックト	·ア1		プラス思考が自分 P1~P4	プラス思考が自分の能力・可能性を大きく広げる P1~P4		
7 Part2 マジックト	·72		考え方を変えれり	考え方を変えれば行動が変わる P5~P11		
8 Part2 マジックト	73		あなたの問題は、	あなたの問題は、あなたが解決できる P12~P19		
9 Part2 マジックト	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~		あなたのコミュニ P20~P27	あなたのコミュニケーションスタイルを見直そう P20~P27		
10 Part2 マジックト	·75		目標が才能・可能	目標が才能・可能性を開花させる P28~P32		
11 Part3 マジックト	·ア1		入学から今日まで	入学から今日までの成長を実感しよう P1~P4		
12 Part3 マジックト	*T2		働く自分をイメー	働く自分をイメージしてみよう P5~P10		
13 Part3 マジックト	· ア3		自分が最大限に	活きる働き方とは F	P11~P15	
14 Part3 マジックト	* 7 4		将来を描いてみ。	はう P16∼P20		
15 Part3 マジックト	・ ア5		夢実現への第一	歩を踏み出そう P2	21∼P24	
<u> </u>	 価方法·成績評価基準			 履修上の注意		
積極的取り組み40%、発表	積極的取り組み40%、発表内容30%、リーダーシップ30%、 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以上)・D				テーター)でしかありませ ープで授業を進めて下さ	
	▼ 放送・音楽業界の現場に7	7年、専門学校	と 対にて27年の指導、	実践行動学ファシ	リテーター資格有	

対象学科	声優科	科目名		専攻実習	『門字仪 ンフハス	
担当教員			 実務授業の有無		0	
対象コース	全コース	<u>_</u> 対象学年	1	開講時期	前期・後期	
	必修	単位数	_	—————— 時間数	182時間	
授業概要、目的、 1. 制作プロセスの経験と発表 授業の進め方 2. 各自、これまで学んだことを基本に企画からな			本番までを実施			
学習目標(到達目標)	全期授業の集大成としての朗訪	き・演劇・アフレコ	コその他の制作および	公演		
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	舞台制作に関する必要物(台本	その他)の配布	ī			
回数	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	習∙備考	
1~6 企画立案			どんな舞台を作る	(演劇・ミュージカル	レ・その他)	
6~15 企画書作成			テーマ・コンセプト	・ターゲット決め		
16~25 企画書作成			内容			
26~35 企画書作成			予算・スケジューノ	予算・スケジュール・組織図・その他		
36~45 台本作成			資料収集	資料収集		
46~55 台本作成			基本的構成決定~ラフ台本完成			
56~65 台本作成			台本完成	台本完成		
66~75 稽古期間			衣装·大道具·小道具作成			
76~85 稽古期間			衣装・大道具・小道	衣装·大道具·小道具作成		
86~95 稽古期間			衣装・大道具・小道	衣装·大道具·小道具作成		
96~105 稽古期間			音響・照明プランニ	ニング		
106~115 稽古期間			音響・照明プランニ	音響・照明プランニング		
116~125 稽古期間			音響・照明プランニ	音響・照明プランニング		
126~135 稽古期間			音響・照明プランニ	ニング 		
136~145 稽古期間			最終チェック			
146~152 リハーサル			会場入り(通し)			
153~159 リハーサル			会場入り(通し)	会場入り(通し)		
160~166 リハーサル			会場入り(通し)			
167~174 ゲネラルプローベ	:					
175~182 本番			評価			
評価50%、制作過程での進	価方法·成績評価基準	・D(59点以上)・	こ それぞれの就学の原	履修上の注意	<u>.</u>	
実務経験教員の経歴	専門等	学校教員とし	 て19年間、学生の	育成に従事。		

対象学科	声優科	科目名	専攻実習			
担当教員	鈴木則子	実	務授業の有無		0	
対象コース	全コース	対象学年	2	開講時期	前期·後期	
必修•選択	必修	単位数	_	時間数	182時間	
授業概要、目的、 授業の進め方			番までを実施			
学習目標 前期授業の集大成としての朗読・演劇・アフレコぞ		この他の制作および	公演			
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	舞台制作に関する必要物(台本	その他)の配布				
回数	授業項目、内容		学習	冒方法・準備学	習∙備考	
1~6 企画立案			どんな舞台を作る	(演劇・ミュージカル	レ・その他)	
6~15 企画書作成			テーマ・コンセプト	・ターゲット決め		
16~25 企画書作成			内容			
26~35 企画書作成			予算・スケジュール・組織図・その他			
36~45 台本作成			資料収集			
46~55 台本作成			基本的構成決定~ラフ台本完成			
56~65 台本作成			台本完成			
66~75 稽古期間			衣装·大道具·小道具作成			
76~85 稽古期間			衣装・大道具・小道具作成			
86~95 稽古期間			衣装·大道具·小道具作成			
96~105 稽古期間			音響・照明プランニング			
106~115 稽古期間			音響・照明プランニング			
116~125 稽古期間			音響・照明プランニング			
126~135 稽古期間			音響・照明プランニ	ニング		
136~145 稽古期間			最終チェック			
146~152 リハーサル			会場入り(通し)			
153~159 リハーサル			会場入り(通し)			
160~166 リハーサル			会場入り(通し)			
167~174 ゲネラルプローベ						
175~182 本番			評価			
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
	評価50%、制作過程での進捗状況20%、学習意欲30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以上)・D 評価を不可とする。			戈果としての制作 。		
実務経験教員の経歴	専門等	学校教員として	19年間、学生の	育成に従事。		

	٠,	

(<u>2</u>) 科目名				技	三二二三三三二二三三二二二三二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	<u> </u>	門字校 シラハス
担当教	 【員	矢頭 勲		実	務授業の有無		0
対象学	· 科	全学科	対象学年	Ę.	全学年	開講時期	前期•後期
必修·ɔ	選択	選択	単位数		_	単位時間数	16時間
	程要、目的、)進め方	1. 演技者のための基本トレー 2. 演技をするための発声・身付 3. 身体のケア・自己管理能力	本感覚の習得	i F			
学習目 (到達		自分の身体に興味を持ち、客種表現にかかわっていくことがで		なが	ら開発できる。また	と、自身でケアを行	いながら積極的に
	ト・教材・参考 ・その他資料	特になし。					
回数		授業項目、内容			学習	¦方法•準備学₹	肾∙備考
1	身体トレーニング	`1			イントロダクション	・・トレーニングの重	要性
2	身体トレーニング	^2			ストレッチ・リズム	運動	
3	身体トレーニング	`3			ストレッチ・リズム	運動•呼吸法	
4	身体トレーニング	`4			ストレッチ・リズム	運動•呼吸法•筋フ	コトレーニング
5	身体トレーニング	5			ストレッチ・リズム リセット	運動•呼吸法•筋力	トレーニング・発声・
6	身体トレーニング	6			ストレッチ・リズム リセット	運動•呼吸法•筋力	トレーニング・発声・
7	身体トレーニング	7			ストレッチ・リズム リセット	運動•呼吸法•筋フ	トレーニング・発声・
8	身体トレーニング	`8			ストレッチ・リズム リセット	運動・呼吸法・筋ス	フトレーニング・発声・
9	身体トレーニング	`9			ストレッチ・リズム リセット	運動・呼吸法・筋ス	フトレーニング・発声・
10	演技トレーニング	`1				運動・呼吸法・筋ス レーニング・リセッ	コトレーニング・発声・ ト
11	演技トレーニング	^2				運動・呼吸法・筋ス レーニング・リセッ	フトレーニング・発声・ ト
12	演技トレーニング	`3				運動・呼吸法・筋ス レーニング・リセッ	フトレーニング・発声・ ト
13	演技トレーニング	[^] 4				運動・呼吸法・筋フ レーニング・リセッ	フトレーニング・発声・ ト
14	演技トレーニング	`5				運動・呼吸法・筋フ レーニング・リセッ	フトレーニング・発声・ ト
15	演技トレーニング	`6				運動・呼吸法・筋フレーニング・リセッ	コトレーニング・発声・ ト
16	テスト				テスト(身体チェッ	ク・自己管理能力	・メンタルケア能力)
	評値	西方法·成績評価基準 				履修上の注意	意
成績評価		%、学習意欲20%、積極性20% 以上)·B(70点以上)·C(60点以上		L)•	表現者としてやって するつもりで臨んで	ほしい。日常のコンラ アンスを発揮できる自	見します。 声づくりの素地を形成 ディションキープと常時 己管理能力を維持する
実務経	験教員の経歴		舞台》	寅豦	月活動10年以上	• 0	

科目名			歌		-7137 7 17 VI	一子校 ンプハス	
担当教	[員	西潟 明美		実務授業の有無		0	
対象学	:科	全学科	対象学年	全学年	開講時期	前期∙後期	
必修・〕	選択	選択	単位数		単位時間数	16時間	
授業概要、目的、 2. 正しい音程を身につける。 2. 正しい音程を身につける。 3. ミュージカル対応もできるよう、楽曲を用い							
学習目標 (到達目標) 1. 声楽の基礎を身につける。 2. 正しい音科		程を身につける。 3.	音域を広げる。				
	ト・教材・参考 ・その他資料	音楽之友社 コールユーブング 全音楽譜出版社 コンコーネ	ゲン全曲 60番中声用				
回数	回数 授業項目、内容		学習	冒方法・準備学習	習∙備考		
1	声楽のためのスト	トレッチと呼吸 テキスト解説		歌うための身体の	の準備の仕方、呼		
2	声楽のためのスト	トレッチと呼吸 母音と子音の多	 治音	歌うための声のと	出し方の基礎、ロの	O開け方など修得。	
3	発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ		コールユーブンク	デンNo3 a/c、コンコ	ıーネNo.2 練習。	
4	発声 コールユー	ブンゲン コンコーネ		コールユーブンク 練習。	デンNo3 a/c No4a/	c、コンコーネNo.2	
5	発声 コールユー	ブンゲン コンコーネ 校歌		コールユーブンク校歌練習。	コールユーブンゲンNo4 No6、コンコーネNo.2 校歌練習。		
6	発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ 校歌		コールユーブンク 校歌練習。	デンNo4 No8、コンコ	コーネNo.3	
7	発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ 校歌		コールユーブンク 校歌練習。	ドンNo6 No8 No10、	, コンコーネNo.3	
8	発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ 校歌		コールユーブンク 校歌練習。	コールユーブンゲンNo10 No11、コンコーネNo.3 校歌練習。		
9	テスト			コールユーブンケ	デン、コンコーネから	らのテスト。	
10	1学期の復習 コ	ールユーブンゲン コンコーネ		1学期の復習。 コールユーブンク	デンNo13、コンコー	ネNo.4 練習。	
11	発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ		コールユーブンク	デンNo13、コンコー	ネNo.4 練習。	
12	発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ		コールユーブンク	デンNo15、コンコー	ネNo.4 練習。	
13	発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ		コールユーブンク	デンNo15、コンコー	ネNo.4 練習。	
14	発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ		コールユーブンク 練習。	デンNo15 No17、コン	ンコーネNo.4通し	
15	発声 コールユー	-ブンゲン コンコーネ ミュージ	カル楽曲	コールユーブンク ミュージカル楽曲	デンNo17 No18、コン A練習。	ンコーネNo.7	
16	発声 コールユー	ブンゲン コンコーネ ミュージ	がカル楽曲		コールユーブンゲンNo17 No18、コンコーネNo.7 ミュージカル楽曲A練習。		
	評位	西方法・成績評価基準			履修上の注意	意	
成績評個		%、学習意欲20%、積極性20% 以上)·B(70点以上)·C(60点以		吉優・俳優#.ミュー	え、音程を正す意識だ ジカルに進出すること さんでいかせる。		
実務経	験教員の経歴	声楽指導、ミュ	ージカル歌	唱指導者として、3	30年以上の経験	倹を持つ	

(2

科目名	·目名 演奏							
担当教	(員	冨田 一輝		実	務授業の有無		0	
対象学	科	全学科	対象学年	F	全学年	開講時期	前期•後期	
必修·i	選択	選択	単位数		_	単位時間数	16時間	
授業概要、目的、 1. 各希望楽器を用いたアンサンブル授業 2. 各パートごとの練習、完成後にバンド演奏 3. バンドステージとして発表		Į.						
学習目標 初心者でも楽器が演奏できるようにある。経験部 (到達目標) 最終的にはバンド形態で1曲以上、演奏が出来					クニックを身に付け	ける。		
	Fスト・教材・参考 書・その他資料							
回数		授業項目、内容			学習	ア方法・準備学ア	習∙備考	
1	楽器の特性などで	を説明			ギター・ベース・ド	ラムス・キーボート	*	
2	パート分け				各楽器および経り	倹の有無に分かれ	て練習を開始	
3	まず音を出してみ	√a			経験者は初心者	をサポートしながら	楽器を演奏してみる	
4								
5		+ 1171			各パートに分かれて課題曲練習			
6	課題曲① 演奏編	東省						
7								
8		» (* 1° T / 45 - = 11 BT - 14 - 0 / 1 TO			
9	課題曲アンサンフ	7ルの練習			バンド形態で課題曲の練習			
10	課題曲①発表				ステージにて課題曲演奏の発表			
11								
12	課題曲②演奏編	東習			各パートに分かれ	れて課題曲練習		
13								
14	毎 野 曲 マン・サン・	ゴルの 練羽			パン・パース 台号 一不 三田 日	かん		
15	課題曲アンサンフ	/ ルの旅首			バンド形態で課題曲の練習			
16	課題曲② 発表				ステージにて課題	囲演奏の発表		
	評価方法•成績評価基準					履修上の注意	·····································	
課題①発表30%、課題②発表30%、学習意欲20%、積極性20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以上)・ D評価を不可とする。						ィークリー総合5位 他名		
大伤性	実務経験教員の経歴曲家:2019年4月アニメキラッとプリチャンED 作編曲、同4月Kore:ct「スタートボタン」オリコンウィークリー総合5位 他多							

2

科目名		国際映像メテイド専門字校 シフハス 				
	A	声·				
担当教員	鈴木 則子		実務授業の有		0	
対象学科	全学科	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期	
必修・選択	選択	単位数		単位時間数	16時間	
授業概要、目的、 授業の進め方 1. 日々行える声優トレーニング法を指導。 2. 呼吸と発声についての基礎的知識を認識させる。 3. イントネーション・プロミネンス・ポーズの基礎						
学習目標 (到達目標)	1. 声優として持久力のある発きができる				。 3. 声量やブレス数	
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	講師作成資料					
回数	回数		Ė	学習方法•準備学	習∙備考	
1 トレーニング 発声・滑舌			実習 トレーニ 発声練習(長	ング 音、トレーニングを加え	えた発声)	
2 トレーニング 発声・滑舌			実習 トレーニ 発声練習(長音	ング 音、トレーニングを加え	えた発声)	
3 トレーニング 発声・滑舌			実習 トレーニ 発声・滑舌練	-ング 習(サ行・ザ行強化)		
4 トレーニング 発声・滑舌			実習 トレーニ 発声・滑舌練	-ング 習(サ行・ザ行強化)		
5 トレーニング 発声・滑舌			実習 トレーニ 発声・滑舌練	-ング 習(ダ行・ラ行強化)		
6 トレーニング 発声・滑舌			実習 トレーニ 発声・滑舌練	-ング 習(ダ行・ラ行強化)		
7 トレーニング 発声・滑舌				実習 トレーニング 発声・滑舌練習(ナ行・マ行強化)		
8 トレーニング 発声・滑舌				実習 トレーニング 発声・滑舌練習(ナ行・マ行強化)		
9 実技テスト			実技テスト			
10 発声・滑舌			発声•滑舌練	習(動きを加えての外	郎売練習)	
11 発声・滑舌			発声•滑舌練	習(動きを加えての外	郎売練習)	
12 長文訓練			長文練習「暑	ハ日に熱い鍋」		
13 長文訓練			長文練習「暑	ハ日に熱い鍋」		
14 長文訓練			長文練習「真	田のサラダの皿だ」		
15 長文訓練			長文練習「真	田のサラダの皿だ」		
16 長文訓練			長文練習「固	ハ方高い方」		
評価方法・成績評価基準				履修上の注	意	
定期試験(発表)40%、基礎力30%、学習意欲30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以上)・			ただし、授業で	ぶできるだけの体力と、う 学べることはやり方であ 意識し練習することによ	って、積み重ねが必要。	
D評価を不可とする。			ロベ、日土的に	∞戦∪採日 9 句∟⊂[∟d	、ノい及文にフなかる。	
実務経験教員の経歴	演技	者・ナレータ	ーとして10年	以上経験を積む		

科目名			映作					
担当教	【員	広川 一義		 実務授業の有無		0		
対象学	·科	全学科	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期		
必修·i	選択	選択	単位数	_	単位時間数	16時間		
授業概要、目的、 担業の進め方 1. 映像機材の名前、種類、扱い方を学ぶ 2. 撮影・編集の基本的知識 3. スマホで撮影・編集・作品制作								
学習目標 (到達目標) スマホで簡単に動画制作が出来ること								
	ト・教材・参考・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	資料はその都原	度配布				
回数	回数		学習	習方法•準備学習	習∙備考			
1	カメラ・編集機材の	の説明 						
2	カメラ・編集機材の			使用方法				
3	撮影			撮影の基本的知	識			
4	撮影			カメラワークにつ	いて			
5	撮影			サイズと照明効	 果			
6	撮影			10カット撮影して	10カット撮影してみよう			
7	編集			ソフトの選び方				
8	編集			カット編集の基本	カット編集の基本的知識(静止画)			
9	編集			カット編集の基本	カット編集の基本的知識(動画)			
10	編集			撮影した動画を	自分で繋いでみる			
11	MA			映像に音楽・効果	果音・ナレーションを	入れる		
12	MA			映像に音楽・効勢	果音・ナレーションを	入れる		
13	作品制作							
14	作品制作							
15	1分間動画 作品	発表 評論		スクリーンにて作	品投影			
16	1分間動画 作品	発表 評論		スクリーンにて作	品投影			
	評价	西方法・成績評価基準			履修上の注意	意		
成績評価	実技試験70%、出席率30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・ D評価を不可とする。			ま)。 最終的には自身の)スマホを使って自由!	こ動画制作が出来ること		
実務経	験教員の経歴	新潟	の映像制作	『プロダクションに	て10年勤務			

2				国際	映像メディア専	門学校 シラバス		
科目名		照明						
担当教員		新潟照明技研株式会社 五味澤 和宏 実務授業の有無				0		
対象学科		全学科	全学年	開講時期	前期∙後期			
必修∙選技	尺	選択	単位数	_	単位時間数	16		
授業概要 授業の進		1. ステージ照明の機材・装置 2. ステージ照明のプランニング 3. 電気・作業手順など安全面	する					
学習目標 (到達目標		 安全に、作業を行うとともに、必 習得する。	必要な機材の選	定、使用方法を理解	gし、簡単な演出照	明とプランニングを		
	·教材・参考図 ·の他資料	教科書は使用しない、必要な資	資料はその都度	配布				
回数		授業項目、内容		学習	『方法・準備学	習∙備考		
1	照明基礎1 機材	たついて		舞台照明の役割	舞台照明の役割。機材の出し方、しまい方			
2	照明基礎2 照明			機材の名称、使し	、方と安全な作業	について		
3	照明基礎3 機材	付について復習と灯体の種類		各自で出し方、し 照明の各種灯体	まい方。 の説明。灯体の移	お設と撤去。		
4	照明基礎4 図面	の見かたと電気の基礎知識		図面の読み方。	図面の読み方。回路など電気の知識。 灯体の吊り込み方について。			
5	照明基礎5 照明	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー			吊り込み実習。灯体に配色。ポリカラーの解説。			
6	照明基礎6 電気基礎 原理基本編				オームの法則、左手の法則など。 一般照明とLEDの設置方法など、照明器具の設営。			
7	照明基礎7 電気				量、使用電気の確			
8	照明基礎8 照明			図面の作り方、イ	図面の作り方、イメージの具現化 図面の仕込みを実際にやってみる			
9	照明基礎9 前期			前回までの復習と知識面のテスト 人・場面の動きに合わせた操作、スポットフォロー				
10	照明基礎10 基	歴授業前期のおさらい 歴授業前期のおさらい		休暇明け、基礎知識・技術の呼び戻し				
11	照明基礎11 演目とイメージ 演目を仮設定し、図面おこし。仮設定された演目の図面が際に設置し、相違点を発見・修正					れた演目の図面から実		
12	照明基礎12 音	 楽モノの照明プラン		音楽モノの照明について 音楽照明プランと曲に合わせての照明操作				
13	照明基礎13 芝	 居などの効果演出		演劇用効果の出し方、照明演出について 芝居演目に対応した照明操作				
14	照明基礎14 演	出に必要な照明部材と素材		支店演員に対応した照明採作 演出照明に必要な機材等の説明 演出用の特殊な装置、灯具などの取り扱い、操作方法				
15	 照明基礎15 プ	ランニングまとめ		関山川の特殊な装置、灯具などの取り扱い、操作方法 照明プランに関する復習 操作棒の使い方。高所灯具のフォーカシング				
16	照明基礎16 基礎のまとめ			照明の基礎知識と器具の管理・操作について総ざらい				
	評価	方法•成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>		
成績評価基 評価を不可	5準は、A(80点以_ とする。	実技試験25%、学習意欲10% 上)·B(70点以上)·C(60点以上)·		結果に繋がっている アクシデント及び本 な対応を出来るよう	くとは限りません。学 番時間による環境 <i>の</i> が心掛けてください。	「べての指示が最適で ぶ上で、可能な限りの)変化を想定して、最適		
夫務経期	食教員の経歴	】 新潟照	明技研株式	会社に所属する	現役の照明家			

担当教員 株式会社サウンドエイト長谷川 辰也 実務授業の有無 対象学科 全学科 対象学年 全学年 開講時期 前期・後期 必修・選択 単位数 一 単位時間数 16時間 授業概要、目的、 1. 音響機材の使用方法、名前を覚える。 2. 条種ケーブルの取り取り、取り回しを営ぶ	国際映像メディア専門学校・ンフハス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
対象学科 全学科 対象学年 全学年 開講時期 前期・後期 必修・選択 必修 単位数 一 単位時間数 168時間 授業概要、目的、 授業の進め方、 3 音音様材を使用し、収収した音声を辞音する 学習目標									
 必修・選択 必修 単位数 単位時間数 16時間 投業概要、目的、投業の進め方 2 各種ケーフルの取り扱い、取り間しを学ぶる 3 録音機材を使用し、収録した音声を整音する 学習目標 (到達日標) 音の性質を理解し、扱えるようになる。 学習方法・準備学習・備考 図書・その他資料 投業項目、内容 学習方法・準備学習・備考				務授業の有無					
授業概要、目的、 授業の進め方 1 音響機材の使用方法、名前を覚える 2 合何ケーブルの取り扱い、取り回しを学ぶ 3 録音機材を使用し、収録した音声を整音する 学習目標 (利達目標) 台の性質を理解し、扱えるようになる。 デキスト・教材・参考 図書・その他資料 伊業項目、内容 学習方法・準備学習・備考 映像制作における音の役割、録音のやり方を学ぶ 3 音響基礎実習		•			全学年				
次系収支、1919、 2. 名種ケーブルの取り扱い、取り向しを学ぶ。	必修・選	択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間		
全部	投耒帆安、日町、 2. 各種ケーブルの取り扱い、取り回しを学ぶ								
図書・その他資料			音の性質を理解し、扱えるよう	こなる。					
1 音響基礎実習 I 映像制作における音の役割、録音のやり方を学ぶ 2 音響基礎実習 I 音どの性質、録音技法、マイクの仕組み方法、ケーブルの種類、扱い方法を学ぶ 3 音響基礎実習 I 録音機材の準備方法、微収方法 フームの使用方法、レコーディング、ミキシング方法を学ぶ 5 音響基礎実習 I フームの使用方法、レコーディング、ミキシング方法を学ぶ スタジオ録音実習 アフレコ録音実習 アフレコ録音実習 物果音素習(作成および、録音、適切な選択方法) 9 音響基礎実習 I アフレコ録音実習 効果音素習(作成および、録音、適切な選択方法) 10 音響基礎実習 I 登音基礎実習 I 登音素習 (アフレコ素材の整音) 11 音響基礎実習 I シックスダウンを行ってみる。 14 音響仕上げ実習 I シックスダウンを行ってみる。 15 音響効果研究 I アカデミー録音気の作品を鑑賞し、音がどのような役割 音響効果研究 I アカデミー録音気の作品を鑑賞し、音がどのような役割 音響効果研究 I アカデミー録音気の作品を鑑賞し、音がどのような役割 を果たしているかを学習する アカデミー録音気の作品を鑑賞し、音がどのような役割 アカデミー録音気の作品を鑑賞し、音がどのような役割 アカデミー録音気の作品を鑑賞し、音がどのような役割 アカデミー録音気の作品を鑑賞し、音がどのような役割 アカデミー録音気の作品を鑑賞し、音がどのような役割 アカデミー録音気の作品を鑑賞し、音がどのような役割 アカデミー録音気の作品を鑑賞し、音がどのような役割 アカデミー録音気の作品を鑑賞し、音がどのような役割 アカデミー録音気の作品を発賞し、音がどのような役割 アカデミー録音気の作品を発賞し、音がどのような役割 アカデミー録音気の作品を発賞し、音がどのような役割 表集元しているかを学習する アカデミー 最初を表記を示されるとと。			教科書は使用しない、必要な資	資料はその都度 面	3布				
	回数		授業項目、内容		学習	了方法·準備学	習∙備考		
日音な映画 日 の種類、扱い方法を学ぶ	1	音響基礎実習 I			映像制作における	 る音の役割、録音(のやり方を学ぶ		
4 音響基礎実習Ⅳ ブームの使用方法、レコーディング、ミキシング方法を学ぶ スタジオ録音実習 6 音響基礎実習Ⅵ 7 声響基礎実習Ⅶ 7 プレコ録音実習 8 音響基礎実習Ⅷ 7 プレコ録音実習 9 音響基礎実習Ⅷ 7 プレコ録音実習 10 音響基礎実習Ⅸ 20 音響基礎実習Ⅹ 20 音響基礎実習Ⅹ 20 音響基礎実習Ⅹ 21 音響基礎実習Ⅹ 22 音響基礎実習双 22 音響基礎実習双 22 音響基礎実習双 23 音響性上げ実習 24 音響性上げ実習 25 まだしているかを学習する 27 カデミー録音質の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する 27 カデミー録音質の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する 3 音響効果研究 3 音響効果研究 4 音響性上げま習 5	2	音響基礎実習Ⅱ					組み方法、ケーブル		
お	3	——— 音響基礎実習Ⅲ			録音機材の準備:	 方法、撤収方法			
日 音響基礎実習	4	音響基礎実習Ⅳ				去、レコーディング	、ミキシング方法を学		
7 音響基礎実習	5	音響基礎実習V			スタジオ録音実習				
8 音響基礎実習Ⅲ 効果音実習(作成および、録音、適切な選択方法) 9 音響基礎実習区 効果音実習(作成および、録音、適切な選択方法) 10 音響基礎実習区 整音実習(アフレコ素材の整音) 11 音響基礎実習図 整音実習(アフレコ素材の整音) 12 音響基礎実習図 整音実習(アフレコ素材の整音) 13 音響仕上げ実習 I ミックスダウンを行ってみる。 14 音響仕上げ実習 I ミックスダウンを行ってみる。 15 音響効果研究 I アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する 16 音響効果研究 I アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する 評価方法・成績評価基準 履修上の注意	6	音響基礎実習VI			アフレコ録音実習				
9 音響基礎実習区 効果音実習(作成および、録音、適切な選択方法) 10 音響基礎実習区 整音実習(アフレコ素材の整音) 11 音響基礎実習区 整音実習(アフレコ素材の整音) 12 音響基礎実習区 整音実習(アフレコ素材の整音) 13 音響仕上げ実習 I ミックスダウンを行ってみる。 14 音響仕上げ実習 I ミックスダウンを行ってみる。 15 音響効果研究 I アカデミー録音質の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する 16 音響効果研究 I アカデミー録音質の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する アカデミー録音質の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する 評価方法・成績評価基準 履修上の注意 実技試験70%、出席率30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 財産を用いた短編映像作品を完成させること。	7	音響基礎実習Ⅷ			アフレコ録音実習				
10 音響基礎実習 X 整音実習 (アフレコ素材の整音) 11 音響基礎実習 X 整音実習 (アフレコ素材の整音) 12 音響基礎実習 X 整音実習 (アフレコ素材の整音) 13 音響仕上げ実習 I ミックスダウンを行ってみる。 14 音響仕上げ実習 I ミックスダウンを行ってみる。 15 音響効果研究 I アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する 16 音響効果研究 I アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する 下加方法・成績評価基準 履修上の注意 実技試験70%、出席率30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 積極的に実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、かつ音響 別果を用いた短編映像作品を完成させること。 ド価を不可とする。	8	音響基礎実習Ⅷ			効果音実習(作成および、録音、適切な選択方法)				
11 音響基礎実習知 整音実習(アフレコ素材の整音) 12 音響基礎実習知 整音実習(アフレコ素材の整音) 13 音響仕上げ実習 I ミックスダウンを行ってみる。 14 音響仕上げ実習 I ミックスダウンを行ってみる。 15 音響効果研究 I アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する 16 音響効果研究 I アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する 「評価方法・成績評価基準 履修上の注意 実技試験70%、出席率30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 精極的に実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、かつ音響効果を用いた短編映像作品を完成させること。	9	音響基礎実習区							
12 音響基礎実習知 整音実習(アフレコ素材の整音) 13 音響仕上げ実習 I ミックスダウンを行ってみる。 14 音響仕上げ実習 I ミックスダウンを行ってみる。 15 音響効果研究 I アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する 16 音響効果研究 I アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する アカデニー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する 評価方法・成績評価基準 履修上の注意 実技試験70%、出席率30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 効果を用いた短編映像作品を完成させること。 評価を不可とする。	10	音響基礎実習X							
13 音響仕上げ実習 I ミックスダウンを行ってみる。 14 音響仕上げ実習 I ミックスダウンを行ってみる。 15 音響効果研究 I アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する 「要権を関する 「要権を関する									
14 音響仕上げ実習 1	12	音響基礎実習XI			整音実習(アフレコ素材の整音) 				
15 音響効果研究 I アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する 16 音響効果研究 I アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する 評価方法・成績評価基準 履修上の注意 実技試験70%、出席率30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 清極的に実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、かつ音響効果を用いた短編映像作品を完成させること。	13	音響仕上げ実習	I		ミックスダウンを行	」 ってみる。			
16 音響効果研究 I を果たしているかを学習する アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割を果たしているかを学習する 評価方法・成績評価基準 履修上の注意 実技試験70%、出席率30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 評価を不可とする。	14	音響仕上げ実習	П		ミックスダウンを行ってみる。				
を果たしているかを学習する 評価方法・成績評価基準 履修上の注意 実技試験70%、出席率30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 評価を不可とする。	15	音響効果研究 I							
実技試験70%、出席率30% 積極的に実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、かつ音響 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 対果を用いた短編映像作品を完成させること。 評価を不可とする。	16	音響効果研究Ⅱ							
実技試験70%、出席率30% 積極的に実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、かつ音響 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 対果を用いた短編映像作品を完成させること。 評価を不可とする。									
実技試験70%、出席率30% 積極的に実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、かつ音響 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 対果を用いた短編映像作品を完成させること。 評価を不可とする。		=+ 1-	r_ - \						
積極的に実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、かつ音響成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 効果を用いた短編映像作品を完成させること。 評価を不可とする。	計画力法・成積計画を年 復修工の注息 						₺		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D 効果を用いた短編映像作品を完成させること。 評価を不可とする。	実技試験	70%、出席率30%			**************************************	Jan a a a a a a a a a a a a a a a a a a			
実務経験教員の経歴 新潟市を中心にイベント、舞台等の照明・音響を手がける。			从上)•B(70点以上)•C(60点以上))•D(59点以下)•D	積極的に実習に取り効果を用いた短編品	り組み、全ての実習I 央像作品を完成させ	項目に出席し、かつ音響ること。		
	実務経	験教員の経歴	新潟市を中	心にイベント、		・音響を手がけ	る。		

国際映像メディア専門学校 シラバス

科目名		制作	当际	吹像グリイノ 寺	門字校 ンフハス		
担当教員	大﨑 信行	□務授業の有無 □ ○					
対象学科	全学科	対象学年	全学年	開講時期	前期·後期		
<u>必修•選択</u>	必修	単位数		単位時間数	16時間		
授業概要、目的、 授業の進め方 1. イベントが作られる仕組みを学ぶ 2. イベント運営を学ぶ 3. 自主企画イベントを行ってみる							
学習目標 (到達目標)	学生自身のイベント企画、実施						
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	をおけるとのおきでは、 をおける。 をはれる。					
回数	授業項目、内容			了法· 準備学習	肾∙備考		
1 イベント企画導入				での必要な考え方			
2 イベント企画導入	, П			人材や役割を理解	する		
3 イベント企画 I			公演時に必要な役割と準備				
4 イベント企画 Ⅱ			企画書作成に関する基礎知識				
5 イベント企画皿			演目や内容の提案。内容に関する取り組み方と実現性について				
6 イベント企画Ⅳ			いくつか取り上げたアイデアをもとに、実現性を考えてみる				
7 イベント企画 Ⅴ			様々な意見やジャンルからアイデアを集てみる				
8 イベント企画Ⅵ			アイデアを纏め、短時間設定での企画を立ててみる。				
9 イベント企画 🛚			仮想イベントを設定して、企画書の作成を行ってみよう(提出)				
10 イベント企画畑			イベント論1 公演				
11 イベント企画区			イベント論2 地域交流(イベント)				
12 イベント企画 X			イベント論3 多種多様なイベント形態				
13 イベント企画区			出演者やスタッフの動きを考える				
14 イベント企画XI			出演者のタイムスケジュールについて				
15 イベント企画XIII	イベント企画XIII			スタッフ進行表について			
16 総括	6 総括 実演目的の企画を立ててみる。(演目				目時間自由)		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意				
評価を不可とする。	以上)·B(70点以上)·C(60点以上			こ出席し、イベントの:	企画を行う事		
実務経験教員の経歴		放送•音楽	業界の現場に	7年			

(2

科目名			演员	±	<u> </u>	7 7 7 7	** 子校 シブハス	
担当教員 矢頭 勲				実務授業の	有無		0	
対象学科		全学科	対象学年	全学	ŧ	開講時期	前期•後期	
必修・選択		必修	単位数	_		単位時間数	16時間	
授業概要、目的、 授業の進め方 1. 映像表現に必要な演出手法を習得する。 2. 学生の制作作品をチェックしながら具体的改善的を指導する。								
学習目(到達		自ら演出を考え、役者に芝居に	に応じた演出を	付けられる				
	ト·教材·参考 ·その他資料							
回数		授業項目、内容			学習	7方法•準備学	貿∙備考	
1	演出基礎 I			筋書と台詞	につい	\T		
2	演出基礎Ⅱ			立ち位置、	見栄え	、動き		
3	演出基礎Ⅲ			効果的な音	番•照	明効果		
4	演出論 I			著名な演出	著名な演出家			
5	演出論Ⅱ			歴史的·社	歴史的・社会的・世界観表現			
6	演出論皿			創作演出、	創作演出、メソッド効果など			
7	映像・演出とは何	か		画面の映り	画面の映り方による画面効果の違い			
8	映像・演出とは何	か		視線の的研	視線の的確な誘導を考える!			
9	特殊撮影についる	C		特撮の演出	特撮の演出方法を研究する①			
10	特殊撮影につい	C		特撮の演出	特撮の演出方法を研究する②			
11	アクションについ	7		なめらかに	なめらかに見せる演出方法			
12	アクションについ	T		フレームイ	フレームインアウトなど			
13	場面転換の効果	について		時間経過、	時間経過、場面転換などの演出方法①			
14	場面転換の効果	について		時間経過、	時間経過、場面転換などの演出方法②			
15	学生作品(5分)制作		各自、演出	各自、演出方法を参考に動画を制作してみる。				
16	学生作品(5分)の編集チェック				各自、作品を持参してプロジェクター投影しながら編集の 良し悪しの指導を行う。			
評価方法•成績評価基準					履修上の注意			
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・また、f D評価を不可とする。					提出は	は自身の作品であるは何本でも可能である		
実務経	験教員の経歴	[順	(実績あり。	当校县	身 仕講師		